

令和2年度 第2次菊川市総合計画進捗状況報告書

施策評価シート

菊 川 市

目 次

基本目標 1	子どもがいきいき育つまち 【子育て・教育】	ページ数
政策 1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり	
施策 1	教育・保育サービスの充実に取り組みます	1
施策 2	幼児教育・保育の質の向上を目指します	2
施策 3	安心できる子育て環境を整備します	3
施策 4	子育て世代を応援します	4
政策 2	親と子が健やかに成長できるまちづくり	
施策 1	母子保健事業の実施で親と子の健やかな成長を支援します	5
施策 2	医療費助成で親と子の健康増進を推進します	6
施策 3	子どもの成長や発達の支援に取り組みます	7
政策 3	安全・安心な教育環境が整ったまちづくり	
施策 1	学校施設を適正に維持管理し耐震化や長寿命化に努めます	8
施策 2	安全で安心して教育が受けられる環境づくりに努めます	9
施策 3	安全でおいしい給食を安定的に提供します	11
政策 4	子どもの「生きる力」を育むまちづくり	
施策 1	I C T環境を生かした魅力ある授業づくりを推進します	12
施策 2	「一人ひとりが生きる教育」を推進します	13
施策 3	中学校区等を核とした学びの環境づくりを推進します	14
政策 5	人を育み、若者を育てるまちづくり	
施策 1	地域で子どもを守り育てる取り組みを進めます	15
施策 2	家庭の教育力向上に取り組みます	16
施策 3	子どもの読書活動を推進します	17

基本目標 2	健康で元気に暮らせるまち 【保健・福祉・医療・社会教育】	ページ数
政策 1	適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり	
施策 1	健康増進事業の実施によりみんなの健康を作ります	18
施策 2	検診事業の実施によりみんなの健康を維持します	19
施策 3	心の健康事業の実施によりみんなの心の健康を作ります	20
施策 4	予防接種事業の実施により疾病予防を行います	21
政策 2	高齢者が元気にいきいきと暮らせるまちづくり	
施策 1	高齢者の介護予防と生きがいづくりを進めます	22
施策 2	地域包括ケアの体制を充実します	23
施策 3	高齢者の生活を支援する介護サービスを推進します	24
政策 3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり	
施策 1	地域における市民の福祉活動を支援します	25
施策 2	地域福祉の担い手を育成・支援します	26
施策 3	地域のなかでの自立した生活を応援します	27
政策 4	障がいのある人が地域のなかで、安心して暮らすことができるまちづくり	
施策 1	障がいのある人の自立した生活を支援します	28
施策 2	障がいのある人の地域での活動を促進します	29
施策 3	障がいのある子どもの福祉サービスを充実します	30
政策 5	入院から在宅まで安心して医療を受けることができるまちづくり	
施策 1	医療機関、介護・福祉施設などとの連携を進めます	31
施策 2	菊川市立総合病院の機能を充実します	32
施策 3	家庭医養成プログラムを推進します	33
施策 4	市民と行政が連携して地域医療支援の充実を目指します	34
政策 6	生涯にわたり学べるまちづくり	
施策 1	生涯学習活動を推進します	35
施策 2	読書環境の整備に努めます	36
施策 3	読書機会の提供・読書活動の啓発に努めます	37
政策 7	芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり	
施策 1	鑑賞機会の提供に努めます	38
施策 2	市民の文化・芸術活動を支援します	39
施策 3	文化財の保存・周知・活用を推進します	40
政策 8	スポーツが盛んなまちづくり	
施策 1	誰もがスポーツに触れ合う機会を創出します	41
施策 2	スポーツ活動の場を提供します	42
施策 3	スポーツ団体・スポーツ活動を支援します	43

基本目標3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 【産業】	ページ数
政策1	農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり	
施策1	菊川型農業モデルの創出を図ります	44
施策2	経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図ります	45
施策3	農業経営基盤の強化を促進します	46
施策4	農地の適正な管理と利用を促進します	47
施策5	農業生産基盤の整備と維持管理を行います	48
政策2	活力と魅力のある茶のまちづくり	
施策1	活力ある茶業の振興を推進します	49
施策2	茶の消費拡大を図ります	50
施策3	茶文化を継承します	51
政策3	商工業が活気あるまちづくり	
施策1	就労機会の拡大を図ります	52
施策2	がんばる商業者を応援します	53
施策3	市内企業の応援と進出企業の獲得に努めます	54
政策4	人が訪れるまちづくり	
施策1	市民力による魅力発信を支援します	55
施策2	マスコットを活用した情報発信を行います	56
施策3	広域市町と連携した交流人口の増加を図ります	57
政策5	消費者が安心して暮らせるまちづくり	
施策1	消費者被害の軽減に努めます	58
施策2	消費生活センターの機能を強化し、消費者の保護に努めます	59

基本目標 4	快適な環境で安心して暮らせるまち 【防災・環境・社会資本整備】	ページ数
政策 1	防災力を高めるまちづくり	
施策 1	災害に強いまちをつくります	60
施策 2	自主防災組織の体制及び連携強化を図ります	62
施策 3	市民の防災意識の高揚を図ります	63
施策 4	市民の防災活動への参加を推進します	64
施策 5	避難情報の適切な伝達と避難体制の強化を図ります	65
政策 2	交通事故・犯罪のないまちづくり	
施策 1	交通事故を減らすため交通安全活動を推進します	66
施策 2	交通安全施設の整備を進めます	67
施策 3	犯罪のない明るい地域社会づくりを推進します	68
政策 3	消防力を高めるまちづくり	
施策 1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります	69
施策 2	消防技術の向上を目指します	70
施策 3	消防団の防災力の維持・向上を図ります	71
政策 4	豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり	
施策 1	地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します	72
施策 2	水質浄化・生活環境の改善を進めます	73
施策 3	循環型社会の推進を図ります	74
施策 4	適正な汚水処理施設の管理・運営を進めます	75
政策 5	良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり	
施策 1	良好な住環境をつくります	76
施策 2	幹線道路や生活道路を整備します	77
施策 3	公園などの整備を進めます	78
施策 4	交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます	79
施策 5	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります	80
施策 6	市営住宅を適切に維持管理し、長寿命化を図ります	81
政策 6	上水道が安全に安定して供給されるまちづくり	
施策 1	安定した水資源の確保と総合的な水質管理体制の構築を図ります	82
施策 2	管路の整備及び改良を進めます	83
施策 3	水道施設の管理及び整備を進めます	84
施策 4	安定財源の確保を図り、健全な事業経営を継続します	85

基本目標5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち 【コミュニティ・自助・共助・公助】	ページ数
政策1	市民と行政との協働によるまちづくり	
施策1	地域のために活動している市民や団体を支援します	86
施策2	まちづくりを進めるために市政情報を共有します	87
施策3	地域文化の交流を通して人のつながりを地域の活性化に活かします	88
政策2	まちの元気・魅力が発信されるまちづくり	
施策1	知名度向上に向けて情報を発信します	89
施策2	移住・定住に関する情報を積極的に発信します	90
政策3	性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり	
施策1	男女が平等な立場で参画できる社会づくりに取り組みます	91
施策2	外国人が暮らしやすい環境を整備します	92
施策3	人権擁護活動を推進します	93
政策4	未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり	
施策1	市役所の組織力を高めます	94
施策2	ICT（情報通信技術）を活用し効率的な行政運営をします	95
施策3	健全で安定した行財政運営を構築します	96
施策4	新公共経営と共創による行政運営を推進します	97
施策5	他市町との広域連携を推進します	98

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	こども政策課			
R2	政策	1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり										担当課	こども政策課			
	施策	1 教育・保育サービスの充実に取り組みます														
		SDGsゴール	1	2	3	4	5	16								
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	112,169	256,600	428,865	施策費増減額		0	112,169	144,431	172,265				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	229%	167%				
	施策事業費(決算)		0	0	247,112		一般財源増減額		0	43,575	28,954	32,315				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	166%	145%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	1 教育・保育サービスの充実に取り組みます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	保育所等における定員数	人	1,041	1,250	1,195	1,204	1,222	1,119	109.2%	B	B				
	成果2															
	効率															
指標分析と課題		前年度より受入れ定員数を18人増加し待機児童対策を行った。しかしながら、人口が減少しているにも関わらず0～2歳児の保育ニーズが増加しているため私的待機児童が発生してしまっている。引き続き、待機児童が出ないよう定員確保に努める必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
					成果		効率			判定評価	R4の方向性					
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善			
	1	幼保施設整備補助事業(保育)	重	こども政策課					E							
	2	保育事業(保育支援)	重	こども政策課					A							
	3	保育事業(家庭保育支援)		こども政策課					A							
	4	一部事務組合事業(児童福祉事業・牧之原学校組合)	重	こども政策課					A							
	評価分析と課題		多様なニーズに対応し保育事業を適切に実施した。また、幼児施設への補助を行い、安全安心な教育保育環境の維持に努めた。引き続き、多様なニーズ等を適切に把握し、各事業に取り組む必要がある。放課後児童クラブは順調に運営されており、継続的な事業運営を今後も行っていく。													
	総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方								
改善・加える変化		菊川市幼保施設整備計画の中間見直しの中で、整備数(確保の方策)の確保については保育ニーズ等を加味し必要に応じての見直しをする。放課後児童クラブについては、コロナ感染防止対策及び支援員の業務を軽減するためICT化等により体制を強化する。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	こども政策課			
R2	政策	1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり										担当課	こども政策課			
	施策	2 幼児教育・保育の質の向上を目指します														
		SDGsゴール	1	2	3	4	5	16								
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	1,353,050	1,443,739	1,529,501	施策費増減額		0	1,353,050	90,689	85,762				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	107%	106%				
	施策事業費(決算)		0	0	1,404,786		一般財源増減額		0	537,064	△ 92,416	△ 15,800				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	83%	96%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	2 幼児教育・保育の質の向上を目指します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	菊川市幼児施設連絡会主催の研修会開催数	回	6	12	3	3	3	9	33.3%	現未	E				
	成果2	効率														
指標分析と課題		当初の目標値は研修会実施回数12回だったが、幼児施設連絡会において、保育士の負担軽減及び研修内容の充実を目的に研修計画の見直しを行い、第4次実行計画において目標値を年3回に変更した。幼児施設連絡会が主催する園長会11回、研修会3回を実施したが、研修会の開催日数を少なくしたためより充実した研修にする必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	教育研究推進事業	こども政策課				A									
	2	児童福祉総務事業(こども政策課)	こども政策課				A									
	3	幼児施設連携強化事業	こども政策課				A									
	4	幼児言語教育指導事業	こども政策課				A									
	5	保育対策推進事業	こども政策課				C									
	6	子ども・子育て支援制度事業(民生事業)	こども政策課				C									
7	子ども・子育て支援制度事業(教育事業)	こども政策課				E										
評価分析と課題		民間保育所等の運営や事務の安定化のため給付費等を給付した。また、幼児施設連絡会が実施する研修や幼児ことばの教室を開設する中、各機関が連携して乳幼児期における一人ひとりの個性や成長段階に応じた指導を行った。引き続きの関係機関の連携について継続的な事業運営を支援していく必要がある。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性	コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方							
	改善・加える変化	教育・保育給付費等の制度改正に伴い、各保育所等を含め交付申請・請求事務が煩雑化しており、事務負担の軽減やミス防止を目的にクラウドシステムの導入に向けて検討を図る。また、各保育所等が新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため状況に応じて、オンライン会議や研修が十分実施できるよう環境づくりに努める。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	こども政策課			
R2	政策	1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり										担当課	こども政策課、子育て応援課			
	施策	3 安心できる子育て環境を整備します														
		SDGsゴール	1	2	3	4	5	16								
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	116,903	118,326	128,125	施策費増減額		0	116,903	1,423	9,799				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	101%	108%				
	施策事業費(決算)		0	0	111,808		一般財源増減額		0	74,405	15,229	△ 6,317				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	120%	93%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	3 安心できる子育て環境を整備します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	認定こども園整備数(累計)	数	0	3	5	8	8	1	800.0%	S	S				
	成果2															
	効率															
指標分析と課題		令和2年度に新たに認定こども園化した保育所はないが、市内の認定こども園化については目標以上に推進されている。引き続き、保護者の就業状況に関わらず子どもが育つ環境が継続されるこども園の整備を促進していく必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	地域子ども・子育て支援事業			こども政策課				A							
	2	幼保施設整備補助事業(教育)			重 こども政策課				E							
	3	北幼稚園管理振興事業			こども政策課				A							
	4	市単独幼稚園施設整備事業			こども政策課				A							
	5	幼稚園管理事業【こども政策課(おおぞら)】			こども政策課				A							
	6	幼稚園総務事業【こども政策課(おおぞら)】			こども政策課				A							
7	公立認定こども園管理事業			こども政策課				A								
8	公立認定こども園総務事業			こども政策課				A								
9	家庭児童相談室総務事業			子育て応援課				A								
評価分析と課題		子ども・子育て会議において、特定地域型保育事業の利用定員の設定について適切に審議され、承認を得た。今後もわかりやすい事業説明に努める。また、幼児施設への補助を適正に行った。おおぞら認定こども園、小笠北幼稚園については、安定した運営を行うことができた。業務見直しは必要に応じて適宜対応していく。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	人口は減少傾向にあるが、0~2歳から保育所に入所する人数が増加している。また、1号認定が減少し2号認定のニーズ増が加速しており、実状にあった菊川市幼保施設整備計画の中間見直しを行っていく。														
	担当課別評価	子育て応援課	家庭における子育てに関する悩みや不安を聴取し、解決に向けた相談事業を実施した。近年、支援が必要なケースが増加しており、児童虐待の未然防止、早期発見、児童保護を視野に入れた早期対応が求められている。月1回の実務者会議の開催に限らず、個別のケース会議を随時開催し、情報共有や支援方針の検討を実施しており、今後も継続的に家庭児童相談を実施していく。また、関係機関との情報連携について改めて確認をしていく。													

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	こども政策課			
R2	政策	1 安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり										担当課	こども政策課、子育て応援課			
	施策	4 子育て世代を応援します														
		SDGsゴール	1	2	3	5	16									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	1,275,910	1,392,866	1,251,785	施策費増減額		0	1,275,910	116,956	△ 141,081				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	109%	90%				
	施策事業費(決算)		0	0	1,360,325		一般財源増減額		0	404,329	104,570	△ 130,004				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	126%	74%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	4 子育て世代を応援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	子育てアプリ構築、アプリダウンロード数(累計)	件	0	3,000	1,724	1,922	2,256	1,333	169.2%	A	D				
	成果2	効率														
指標分析と課題		イベントや受付窓口でアプリのPRを行い、昨年よりも新規ダウンロード件数は増加したが、費用対効果として事業継続を検討する必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	子育て支援センター運営事業			子育て応援課					A						
	2	児童館運営事業			子育て応援課					A						
	3	小笠児童館管理事業			子育て応援課					A						
	4	子育てアプリ事業			こども政策課					E						
	5	児童福祉総務事業(子育て応援課)			子育て応援課					A						
	6	子育て支援事業			子育て応援課					E						
	7	児童手当給付事業			子育て応援課					A						
	8	母子福祉事業			子育て応援課					A						
	9	こども医療事業			子育て応援課					A						
	10	子育て世帯臨時特別給付金			新	子育て応援課				A						
11	ひとり親家庭等臨時特別給付金			新	子育て応援課				A							
12	ひとり親家庭等支援臨時特別給付金			新	子育て応援課				A							
13	ひとり親世帯臨時特別給付金			新	子育て応援課				A							
評価分析と課題		子育てアプリは、ダウンロード数は増加したが、効果的な運用のため菊川市LINE公式アカウントへの移行を検討する必要がある。小笠児童館施設の維持・管理に係る業務、児童手当、児童扶養手当、こども医療費助成等とともに、各種臨時特別給付金の支給を実施した。今後も安心して子育てできる環境整備に努めていく必要がある。														
総合評価	総合判定評価	C	施策規模・内容・主体の見直し検討			R4年度の方向性			コスト 維持→	成果 維持→	改善 ⑤事業統合					
	改善・加える変化	子育てアプリの菊川市LINE公式アカウントへの移行(アプリ「きくすく」の運用終了)の検討。児童館・子育て支援センターは、継続した新型コロナウイルス感染症予防対策を実施。ファミサポ制度、小児慢性特定疾患日常生活給付事業、児童手当、児童扶養手当、こども医療費助成など子育て家庭の支援を目的とした事業について更に周知を行う。														
	担当課別評価	子育て応援課	児童館・子育て支援センターの適正な運営を図るため運営業務を委託するとともに、小笠児童館施設の維持・管理に係る業務を実施。仕事と育児を両立できる環境整備や地域で安心して子育てできる環境を整備するため、ファミリーサポートセンターや小児慢性特定疾患日常生活給付事業を実施した。また、児童手当、児童扶養手当、こども医療費助成等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭に各種臨時特別給付金の支給を実施した。今後も安心して子育てできる環境整備に努めていく。													

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	子育て応援課			
R2	政策	2 親と子が健やかに成長できるまちづくり										担当課	子育て応援課			
	施策	1 母子保健事業の実施で親と子の健やかな成長を支援します														
		SDGsゴール	1	2	3	4	16									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	188,001	178,653	183,300	施策費増減額		0	188,001	△ 9,348	4,647				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	95%	103%				
	施策事業費(決算)		0	0	169,877		一般財源増減額		0	152,985	△ 28,245	54,372				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	82%	144%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	1 母子保健事業の実施で親と子の健やかな成長を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	乳幼児健診の受診率(1歳6ヵ月健診と3歳健診の平均)	%	96.5	100	96.9	97.8	103.7	98.1	105.7%	S	B				
	成果2	効率														
指標分析と課題		乳幼児健診の受診率が103.7%。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月から3月に受診控えがあり、4月以降の受診が増加したため、令和2年度の受診率が100%を超えている。令和2年度は感染予防対策を徹底し健診を実施したため、大きな受診控えは見られなかった。今後も感染予防対策を徹底し健診を実施する必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価		総合判定評価		R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	母子保健事業					A									
	2	予防接種事業(子育て応援課)					A									
評価分析と課題		支援が必要な妊産婦には、産後ケアや妊娠出産時家庭ホームヘルプサービスの実施など継続的な支援を実施していく必要がある。また予防接種のうち、子宮頸がんワクチンについては、過去の副反応の問題もあり、国の指示により積極的な接種勧奨は控えているが、接種対象年齢の児童等が希望による接種機会を失しないよう制度の周知を行う必要がある。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	産後ケア事業、妊娠出産時ホームヘルプサービス事業の利用増加を図るため、妊娠届出時、妊婦・パートナーを対象とした教室(プレママ&パパサロン)での更なる周知を実施する。子宮頸がんワクチンについては、接種対象年齢(小6から高1まで)の児童等が希望による接種の機会を失しないよう、高校1年生の女子を対象に案内通知を送付する。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	子育て応援課			
R2	政策	2 親と子が健やかに成長できるまちづくり										担当課	子育て応援課			
	施策	2 医療費助成で親と子の健康増進を推進します														
		SDGsゴール	1	2	3	4	16									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	1,202	8,473	8,420	施策費増減額		0	1,202	7,271	△ 53				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	705%	99%				
	施策事業費(決算)		0	0	7,059		一般財源増減額		0	231	6,347	△ 53				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	2848%	99%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	2 医療費助成で親と子の健康増進を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	医療費助成制度の周知啓発	回	0	2	4	2	3	1	300.0%	S	S				
	成果2															
効率																
指標分析と課題		市ホームページにて、未熟児養育医療費助成制度及び不妊・不育症治療費助成制度の周知を1回実施した。また、不妊・不育症治療費助成制度については、指定医療機関に対し、4月と12月の年2回、補助制度の案内通知を送付するとともに、菊川市在住の受診者に制度周知をしてもらうよう併せて依頼した。今後も制度の周知を実施する必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果		効率		判定評価	R4の方向性				
							1	2	1	人件費		コスト	成果	改善		
	1	母子保健医療事業			重 子育て応援課						B					
評価分析と課題		未熟児養育医療費助成制度は対象乳児数の把握ができず、治療実施内容によって入院医療費が大きく異なるため、予算管理が困難である。不妊・不育症治療費助成制度のうち、不妊治療費については、令和4年度から公的医療保険の適用となる方針が国から示されている。国の動向を把握するなか、必要に応じて助成制度の見直しが必要である。														
総合評価	総合判定評価	C	施策規模・内容・主体の見直し検討			R4年度の方向性				コスト	成果	改善				
											維持→	維持→	③施策内容			
改善・加える変化		不妊治療費については、令和4年度から公的医療保険の適用となる見込みである。国の動向を把握するなか、保険適用の範囲に応じて、不妊・不育症治療費助成制度の見直しを検討する。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち										主管所属	子育て応援課			
R2	政策	2 親と子が健やかに成長できるまちづくり										担当課	子育て応援課			
	施策	3 子どもの成長や発達の支援に取り組みます														
		SDGsゴール	1	2	3	4	16									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	3,166	5,455	6,216	施策費増減額		0	3,166	2,289	761				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	172%	114%				
	施策事業費(決算)		0	0	5,187		一般財源増減額		0	3,141	2,292	764				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	173%	114%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	3 子どもの成長や発達の支援に取り組みます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	年少、年中、年長児を対象とした園訪問回数	回	1	1	1	1	1	1	100.0%	S	B				
	成果2	効率														
指標分析と課題		園訪問については、15園を対象に60回実施。発達相談や療育教室を利用している子どもの継続的な支援、在園児の支援方法の検討・相談、集団活動の様子の確認を目的に、各園1回以上訪問の目標を達成することができた。今後も継続的に園訪問を実施していく必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率	判定評価	R4の方向性										
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	発達支援事業	重	子育て応援課					A							
評価分析と課題		近年、発達に心配のある子どもや保護者が悩みを抱えるケースが増えている。市内のこども園等の各園において、同じ視点で発達の状況を見極め、支援していけるよう発達支援技術の向上が求められている。平成29年度から市内各園の保育教諭等を対象に発達支援研修会を年3回開催しており、今後も継続的に研修会を開催する必要がある。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	発達支援に関する関係機関と連携を図り、継続した支援を実施していく。早期から療育教室を利用することで発達が促されるよう、各事業を継続して実施していく。また、発達支援研修会については、市内各園において簡易発達検査「KIDS」の実践に繋がるよう研修を実施していく。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	教育総務課		
R2	政策	3 安全・安心な教育環境が整ったまちづくり								担当課	教育総務課		
	施策	1 学校施設を適正に維持管理し耐震化や長寿命化に努めます											
	SDGsゴール	4											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	643,605	480,163	426,711	施策費増減額	0	643,605	△ 163,442	△ 53,452			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	75%	89%			
	施策事業費(決算)	0	0	477,621		一般財源増減額	0	74,006	△ 59,513	40,720			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	20%	381%				
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1	学校施設を適正に維持管理し耐震化や長寿命化に努めます	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	学校施設の耐震化率	%	76.9	100	88.5	88.7	92.4	87.2	106.0%	B	B	
	成果2												
効率													
指標分析と課題 本年度は計画どおり加茂小学校校舎の耐震補強を行い、耐震化率は前年度から6.3%増の92.4%となった。次年度も引き続き耐震性の劣る校舎の耐震補強を行い、安全で快適な教育環境の確保を図る必要がある。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	市単独小学校施設整備事業	教育総務課						A				
	2	国庫補助小学校施設整備事業	重 教育総務課						A				
	3	県事業補助小学校施設整備事業	教育総務課						A				
	4	市単独中学校施設整備事業	教育総務課						A				
	5	県事業補助中学校施設整備事業	教育総務課						A				
評価分析と課題 加茂小学校校舎の耐震補強・大規模改造工事については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、夏休みが短縮され大きな影響が出たが、年度内に完成することができた。また、その他の工事・修繕についても計画どおり実施し、健全な教育施設の充実を図ることができた。施設の老朽化により工事・修繕要望が増加していることが課題である。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性			コスト	成果	改善		
	改善・加える変化								維持→	維持→	①施策の進め方		
各学校の老朽化により工事・修繕が増加しているが、単年度ですべての工事等を完了するのは困難であるため、「重要性」「優先順位」を付け計画的に実施し、安全・安心な教育環境を整え、長寿命化にも努める。													

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	教育総務課	
R2	政策	3 安全・安心な教育環境が整ったまちづくり								担当課	教育総務課	
	施策	2 安全で安心して教育が受けられる環境づくりに努めます										
	SDGsゴール	4										
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	251,802	564,491	282,794	施策費増減額	0	251,802	312,689	△ 281,697		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	224%	50%		
	施策事業費(決算)	0	0	523,438		一般財源増減額	0	246,492	312,534	△ 280,893		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	227%	50%		
	コスト分析と課題											
指標評価	総合計画										行政評価	
	2 安全で安心して教育が受けられる環境づくりに努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度		
	成果1	小・中学校における教材備品購入率	%	59.9	65	66.7	67	84.8	62.2	136.3%	S	S
	成果2	効率										
	指標分析と課題 本指標は国庫補助対象となる「小中学校の理科及び算数・数学備品購入した額」を国で定める「基準額」で除したもので、令和2年度は国の基準額が下がったことにより、前年度より18%増となった。また、前年度までの基準額で算出すると「68%」で、備品は計画どおり購入できている。今後も計画的な購入を行う必要がある。											
関連事業												
事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
				成果		効率			判定評価	R4の方向性		
			1	2	1	人件費		コスト		成果	改善	
1	就学援助事業(小学校事業)	教育総務課					A					
2	就学援助事業(中学校事業)	教育総務課					A					
3	小学校管理総務事業(教育総務課)	教育総務課					A					
4	中学校管理総務事業(教育総務課)	教育総務課					A					
5	一部事務組合事業(教育事業・牧之原学校組合)	教育総務課					A					
6	事務局総務事業(教育総務課)	教育総務課					A					
7	六郷小学校管理事業	教育総務課					A					
8	内田小学校管理事業	教育総務課					A					
9	横地小学校管理事業	教育総務課					A					
10	加茂小学校管理事業	教育総務課					A					
11	堀之内小学校管理事業	教育総務課					A					
12	河城小学校管理事業	教育総務課					A					
13	東小学校管理事業	教育総務課					A					
14	南小学校管理事業	教育総務課					A					
15	北小学校管理事業	教育総務課					A					
16	六郷小学校教育振興事業	教育総務課					A					
17	内田小学校教育振興事業	教育総務課					A					
18	横地小学校教育振興事業	教育総務課					A					
19	加茂小学校教育振興事業	教育総務課					A					
20	堀之内小学校教育振興事業	教育総務課					A					
21	河城小学校教育振興事業	教育総務課					A					
22	東小学校教育振興事業	教育総務課					A					
23	南小学校教育振興事業	教育総務課					A					
24	北小学校教育振興事業	教育総務課					A					
25	小学校特別支援教育就学奨励事業	教育総務課					A					
26	小学校教育振興総務事業(教育総務課)	重 教育総務課					A					
27	菊川西中学校管理事業	教育総務課					A					
28	菊川東中学校管理事業	教育総務課					A					
29	岳洋中学校管理事業	教育総務課					A					
30	菊川西中学校教育振興事業	教育総務課					A					
31	菊川東中学校教育振興事業	教育総務課					A					

評価分析	32	岳洋中学校教育振興事業		教育総務課									A						
	33	中学校特別支援教育就学奨励事業		教育総務課									A						
	34	中学校教育振興総務事業(教育総務課)	重	教育総務課									A						
	35	教育委員報酬事業		教育総務課									A						
	36	教育委員会総務事業		教育総務課									A						
	37	公用車管理事業(教育総務課)		教育総務課									A						
	38	公用車管理事業(小学校)		教育総務課									A						
	39	公用車管理事業(中学校)		教育総務課									A						
	40	GIGAスクール構想整備事業(小学校)		教育総務課									A						
	41	GIGAスクール構想整備事業(中学校)		教育総務課									A						
	42	公用車管理事業(六小)		教育総務課									A						
	43	公用車管理事業(内小)		教育総務課									A						
	44	公用車管理事業(横小)		教育総務課									A						
	45	公用車管理事業(加小)		教育総務課									A						
	46	公用車管理事業(堀小)		教育総務課									A						
	47	公用車管理事業(河小)		教育総務課									A						
	48	公用車管理事業(東小)		教育総務課									A						
	49	公用車管理事業(南小)		教育総務課									A						
	50	公用車管理事業(北小)		教育総務課									A						
	51	小学校管理総務事業(六小)		教育総務課									A						
	52	小学校管理総務事業(内小)		教育総務課									A						
	53	小学校管理総務事業(横小)		教育総務課									A						
	54	小学校管理総務事業(加小)		教育総務課									A						
	55	小学校管理総務事業(堀小)		教育総務課									A						
	56	小学校管理総務事業(河小)		教育総務課									A						
	57	小学校管理総務事業(東小)		教育総務課									A						
	58	小学校管理総務事業(南小)		教育総務課									A						
	59	小学校管理総務事業(北小)		教育総務課									A						
	60	小学校教育振興事業(六小)	重	教育総務課									A						
	61	小学校教育振興事業(内小)	重	教育総務課									A						
	62	小学校教育振興事業(横小)	重	教育総務課									A						
	63	小学校教育振興事業(加小)	重	教育総務課									A						
	64	小学校教育振興事業(堀小)	重	教育総務課									A						
	65	小学校教育振興事業(河小)	重	教育総務課									A						
	66	小学校教育振興事業(東小)	重	教育総務課									A						
	67	小学校教育振興事業(南小)	重	教育総務課									A						
	68	小学校教育振興事業(北小)	重	教育総務課									A						
	69	公用車管理事業(西中)		教育総務課									A						
	70	公用車管理事業(東中)		教育総務課									A						
	71	公用車管理事業(岳洋中)		教育総務課									A						
	72	中学校管理総務事業(西中)		教育総務課									A						
	73	中学校管理総務事業(東中)		教育総務課									A						
	74	中学校管理総務事業(岳洋中)		教育総務課									A						
	75	中学校教育振興事業(西中)	重	教育総務課									A						
	76	中学校教育振興事業(東中)	重	教育総務課									A						
	77	中学校教育振興事業(岳洋中)	重	教育総務課									A						
	評価分析と課題		各事業の実施により、安全で安心して教育が受けられる環境づくりに努めた。 今後、児童・生徒数の減少が見込まれるが、教育振興に必要な予算の確保が必要である。																
	総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方											
		改善・加える変化	今後も教育振興に必要な事業実施により、安全で安心して教育が受けられる環境づくりに努める。																

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち							主管所属	教育総務課			
R2	政策	3 安全・安心な教育環境が整ったまちづくり							担当課	教育総務課			
	施策	3 安全でおいしい給食を安定的に提供します											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	368,955	376,086	375,083	施策費増減額	0	368,955	7,131	△ 1,003			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	102%	100%			
	施策事業費(決算)	0	0	363,307		一般財源増減額	0	129,590	3,135	417			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	102%	100%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 安全でおいしい給食を安定的に提供します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	食の指導実施率	%	72	100	83.3	87.5	75	84.4	88.9%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		給食センターから給食を提供している市内の園及び小中学校16校中、指導を行った校が昨年度より2校少ない12校となった。原因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止によるものであるため、致し方ないとする。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	給食運営事業	重	教育総務課					A				
	2	共同調理場総務事業		教育総務課					A				
	3	給食センター管理事業		教育総務課					A				
	4	公用車管理事業(給食センター)		教育総務課					A				
5	配送車管理事業		教育総務課					A					
6	給食センター施設整備事業		教育総務課					A					
評価分析と課題		日々の点検や緊急的な修繕への対応や栄養士・調理業務受託業者と連携を図り、安全でおいしい給食が供給されている。施設・調理機器は緊急修繕などで対応できているが、配送車に関しては故障時に代替えできる車両がないため、対応を検討する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト	成果	改善			
	改善・加える変化							維持→	維持→	①施策の進め方			
改善・加える変化		引き続き、点検の実施・早期の修繕対応や栄養士・調理業務受託業者と連携を図ることで、安全でおいしい給食を安定的に供給する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	学校教育課			
R2	政策	4 子どもの「生きる力」を育むまちづくり								担当課	学校教育課			
	施策	1 ICT環境を生かした魅力ある授業づくりを推進します												
		SDGsゴール	4	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)		0	3,276	22,352	4,710	施策費増減額		0	3,276	19,076	△ 17,642		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	682%	21%		
	施策事業費(決算)		0	0	22,255		一般財源増減額		0	1,686	18,790	△ 17,574		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	1214%	14%		
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	1 ICT環境を生かした魅力ある授業づくりを推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合(小学校)	%	91.9	93	90.3	91.6	92.6	92.4	100.2%	B	B		
	成果2	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合(中学校)	%	83.4	85	86.2	86.7	87.2	84.1	103.7%	S	B		
効率														
指標分析と課題		小・中学校とも、平均値が昨年度より上がっている。臨時休業中における各校での動画配信等の工夫や、授業時間の確保、授業改善に取り組んだ成果と捉える。子どもが「わかる」と実感するとともに、学びの過程で自分の考え表現できるような読解力や思考力の育成に力を注いでいかなくてはならない。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善	
	1	小学校教育振興事業	重	学校教育課					A					
	2	中学校教育振興事業	重	学校教育課					A					
評価分析と課題		ICTの活用やプログラミング教育の実施において、子どもの学力向上を目指し、子どもの主体的・対話的で深い学びを推進するための学習環境の充実を図る。子どもの論理的思考力を身に付けるための学習活動を計画的に実施する。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	GIGAスクール構想として、一人1台のiPad導入により、授業の幅を広げた。子どもの学びの質を深めるための一つのツールとしたiPadの活用の充実を進めていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	学校教育課		
R2	政策	4 子どもの「生きる力」を育むまちづくり								担当課	学校教育課		
	施策	2 「一人ひとりが生きる教育」を推進します											
	SDGsゴール	4	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	116,494	254,913	181,044	施策費増減額	0	116,494	138,419	△ 73,869			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	219%	71%			
	施策事業費(決算)	0	0	237,917		一般財源増減額	0	115,440	125,377	△ 60,894			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	209%	75%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	2 「一人ひとりが生きる教育」を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	不登校児童生徒の割合	%	1.2	1	1.8	1.9	3.1	1.1	35.5%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題 一人ひとりを大切に、一人の子どもも見捨てない温かな中にも自律を育む理念のもと、魅力ある学校づくりの推進、適応指導教室の運営や心の教室相談員による支援、SCやSSW、各関係機関との連携により、きめ細かな指導が継続できた。特別支援教育の推進や外国人児童生徒への対応やそれに係る人的配置の充実が課題である。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	外国人児童生徒支援事業	学校教育課					A					
	2	通級指導教室運営事業	学校教育課					A					
	3	魅力ある学校づくり調査研究事業	学校教育課					A					
	4	事務局総務事業(学校教育課)	重 学校教育課					A					
	5	教育活動推進事業	重 学校教育課					A					
	6	小学校管理総務事業(学校教育課)	学校教育課					A					
7	外国人生徒指導事業	学校教育課					A						
8	中学校管理総務事業(学校教育課)	学校教育課					A						
9	心の教室運営事業	学校教育課					A						
評価分析と課題 各関係機関との連携や各学校に配置されている支援員による指導や支援により、児童生徒の学習や保護者の学校への理解が深まっている。児童生徒の多様性に対応するために、今以上に人的配置等の環境づくりによる支援の質・量を高めていく必要がある。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	支援員対象の研修等により支援の質の向上を図ることで、各小学校の支援の充実に図る。また、支援の効果上げるために、児童生徒の実態や学校のニーズに応える支援員等の配置を検討する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	学校教育課		
R2	政策	4 子どもの「生きる力」を育むまちづくり								担当課	学校教育課		
	施策	3 中学校区等を核とした学びの環境づくりを推進します											
		SDGsゴール	4	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	2,525	5,977	6,903	施策費増減額	0	2,525	3,452	926			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	237%	115%			
	施策事業費(決算)	0	0	5,896		一般財源増減額	0	2,491	1,461	365			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	159%	109%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	3 中学校区等を核とした学びの環境づくりを推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	大人になっても菊川市に住み続けたいと思う生徒の割合	%	24.5	24.5	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	S	A	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		菊川市小中一貫教育「学びの庭」構想を推進するために、モデル地区である岳洋学舎において、各種取組や協議会の開催など、コロナ禍にも関わらず順調に推進することができた。次年度、全市の学舎で各学舎を核とした学びの環境づくりを構築していくために、小中9年間の縦の接続と学校と地域の横の連携を基盤とした教育活動を推進していく。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性		
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	小中一貫教育推進事業			学校教育課					A			
評価分析と課題		年2回の岳洋学舎運営協議会の開催により、学舎内の取組の理解が深まったり、岳洋学舎挨拶運動などの地域学校協働活動につながった。学校と地域が協働しながら、地域の子どもを地域総ぐるみで育てていく環境づくりのために、引き続き学舎内の協議や連携を行っていく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	菊川市小中一貫教育「学びの庭」構想の菊川市全域の完全実施と円滑な推進のために、各学舎の特色を十分に生かしながら取組や協議を進めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	社会教育課			
R2	政策	5 人を育み、若者を育てるまちづくり								担当課	社会教育課、企画政策課			
	施策	1 地域で子どもを守り育てる取り組みを進めます												
	SDGsゴール	4	17											
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	18,334	14,725	17,782	施策費増減額	0	18,334	△ 3,609	3,057				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	80%	121%				
	施策事業費(決算)	0	0	13,550		一般財源増減額	0	15,064	△ 3,208	3,163				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	79%	127%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	1	地域で子どもを守り育てる取り組みを進めます	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	学校支援地域ボランティアや放課後子ども教室に関わる地域住民の参加者数	人	307	320	279	272	183	313	58.5%	現未	E		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		学校支援地域ボランティアや放課後子ども教室に関わる地域住民の参加者数は、前年度272人と比べ89人減少した。主な理由は新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室のスタッフ募集途中で今年度の放課後子ども教室の開催を中止したためである。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
						成果	効率	判定評価		R4の方向性				
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	青少年学習事業	重	社会教育課						A				
	2	青少年対策事業		社会教育課						B				
	3	社会教育委員活動事業		社会教育課						A				
	4	成人式事業		社会教育課						A				
	5	放課後子ども教室事業		社会教育課						A				
	6	社会教育総務事業		社会教育課						A				
7	高校生ふるさとセミナー事業	重	企画政策課						A					
評価分析と課題		コロナ禍において、小中高生を対象としたボランティア体験や青少年健全育成、小学生を対象とした放課後子ども教室、成人式、社会教育委員等の活動が制限され、今後も感染症が収束するまでは、開催の方法や内容について検討をする必要がある。												
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性		コスト	成果	改善				
							縮小↓	縮小↓	①施策の進め方					
	改善・加える変化	関係団体等と協議し、開催方法の変更や規模縮小、中止も視野に入れ、感染症対策に努める。												
担当課別評価	企画政策課	小笠高校、常葉菊川高校において高校生が地域の課題を解決するための施策を考える取り組みを実施。1月に開催した「高校生まちづくりプレゼンテーション大会」で8グループが発表を行った。高校生の地元への愛着は育まれていると認識している。他にこのような事業はなく、学校からも継続要望をいただいている。地元を思う気持ちを養い、進学等で一旦菊川市を離れても戻ってくる生徒を増やすため、学校を連携し今後も継続していく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	5 人を育み、若者を育てるまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	2 家庭の教育力向上に取り組みます											
	SDGsゴール	4	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	1,318	1,000	1,147	施策費増減額	0	1,318	△ 318	147			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	76%	115%			
	施策事業費(決算)	0	0	997		一般財源増減額	0	1,318	△ 318	147			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	76%	115%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 家庭の教育力向上に取り組みます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	家庭教育支援員の活動回数	回	0	16	5	5	7	7	100.0%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題 家庭教育支援員の活動回数は、家庭教育支援員7名を委嘱し5学級に派遣し延べ7人が活動を行い目標は達成した。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率		判定評価	R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	家庭教育推進事業			社会教育課					A			
評価分析と課題 共働き家庭の増加や感染症対策のため、役員や園・学校に負担の少ない家庭教育学級の運営が必要である。													
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性	コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	家庭教育学級の開設方法について、役員や園・学校からの意見を基に協議・検討していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	1 子どもがいきいき育つまち								主管所属	図書館		
R2	政策	5 人を育み、若者を育てるまちづくり								担当課	図書館		
	施策	3 子どもの読書活動を推進します											
		SDGsゴール	4	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	1,898	1,294	1,367	施策費増減額		0	1,898	△ 604	73	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	68%	106%	
	施策事業費(決算)		0	0	1,250		一般財源増減額		0	1,898	△ 604	73	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	68%	106%	
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 子どもの読書活動を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	12歳以下の児童図書年間貸出冊数(1人あたり)	冊	28.7	33	35.7	34.9	28.2	30.6	92.2%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		12歳以下の利用が減少傾向であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止、なかよし号巡回回数削減により目標値を下回る結果となった。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
			成果	効率			判定評価	R4の方向性					
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善				
	1	読書活動推進事業			図書館								
	評価分析と課題		第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づき、関係機関と連携して各施策を進めているが、新型コロナウイルス感染症等により状況の変化が生じている。										
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ③施策内容			
	改善・加える変化	感染症対策を講じた上で、子どもが本の魅力や読書の楽しさを知ることができるようなイベントの実施を行う必要がある。巡回車の利用等により活動場所を広げることも検討していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	健康づくり課		
R2	政策	1 適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり								担当課	健康づくり課		
	施策	1 健康増進事業の実施によりみんなの健康を作ります											
	SDGsゴール	3											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	4,025	4,430	4,261	施策費増減額	0	4,025	405	△ 169			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	110%	96%			
	施策事業費(決算)	0	0	3,198		一般財源増減額	0	3,232	48	△ 25			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	101%	99%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 健康増進事業の実施によりみんなの健康を作ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	健推協・ワーキング会議の開催(年)	回	2	2	2	2	2	100.0%	S	B		
	成果2												
効率													
指標分析と課題		健康づくり推進協議会及びワーキング会議をそれぞれ2回開催し、令和元年度に実施した第2次すこやかプランの中間見直しや取り組みの進捗状況等について報告を行うと共に、情報交換や意見交換を実施した。今後もそれぞれの会議を開催しながら、プランに沿った健康づくり事業を推進していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	2	1	人件費									
	1	健康マイレージ事業	健康づくり課					A					
	2	介護者リフレッシュ事業	健康づくり課					A					
	3	健康増進事業	健康づくり課					A					
	4	保健師設置総務事業	健康づくり課					A					
	5	健康づくり推進事業総務事業	健康づくり課					A					
6	地区組織活動推進事業	健康づくり課					A						
評価分析と課題		令和元年度に実施したすこやかプラン中間見直しの結果、たばこ関連や歯科保健では改善したが、運動やがん検診受診率は悪化してしまった。 その結果を受け、次年度も計画の最終年度に向け重点的な取り組みを継続していく。 また、積極的な研修会等への参加を行い、保健師や栄養士としての資質向上に努める。											
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、健康マイレージ事業や健康相談、健康教育、健康づくり組織活動等、これまで通りの方法で進められる事業ばかりではないため、感染予防対策を行いながら、事業の実施方法を工夫しながら取り組みを進めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	健康づくり課		
R2	政策	1 適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり								担当課	健康づくり課、市民課		
	施策	2 検診事業の実施によりみんなの健康を維持します											
	SDGsゴール	3											
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	82,278	70,017	80,754	施策費増減額	0	82,278	△ 12,261	10,737			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	85%	115%			
	施策事業費(決算)	0	0	63,944		一般財源増減額	0	67,732	△ 11,249	4,548			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	83%	108%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	2 検診事業の実施によりみんなの健康を維持します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	30歳代生活習慣病検診の受診者数	人	215	250	232	240	214	231	92.6%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		30代の生活習慣病健診の受診者は、昨年度より26人減少してしまった。全国的に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、検診受診率が低下している現状がみられたことから、この健診についても少なからず影響を受けた可能性があると思われる。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	特定健診・特定保健指導事業	市民課						A				
	2	総合検診総務事業	健康づくり課						A				
	3	総合検診事業	重 健康づくり課						A				
評価分析と課題		がん検診をはじめとした様々な検診について、節日年齢者への実態把握兼受診勧奨通知や実態把握及び受診勧奨対策を実施しているものの大きな変化がみられていない。疾病の早期発見・早期受診に結びつけるために、SNSも活用しながら受診率向上対策を継続していく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
							維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化	医療機関等と連携しながら、検診受診の必要性を伝えると共に、コロナ禍でも安心して受診できる体制づくりを行っていく。											
担当課別評価	市民課	特定健康診査の取り組みとして、6月から対象者へ受診勧奨を行い、順次、医療機関での健診実施を行った。10月には今年度未受診者に対し、集団健診の実施の案内を含め、再度の受診勧奨を行った。特定健康診査の結果により、保健師等による特定保健指導を実施した。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	健康づくり課		
R2	政策	1 適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり								担当課	健康づくり課		
	施策	3 心の健康事業の実施によりみんなの心の健康を作ります											
	SDGsゴール	3											
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	94	96	89	施策費増減額	0	94	2	△7			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	102%	93%			
	施策事業費(決算)	0	0	95		一般財源増減額	0	38	1	△4			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	103%	90%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	3 心の健康事業の実施によりみんなの心の健康を作ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	講演会・研修会の開催数(年)	回	5	5	3	5	5	5	100.0%	S	B	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題 感染予防対策を行いながら、市民や健康づくり推進委員を対象とした講演会や研修会を計画どおり行うことができた。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	精神保健事業	健康づくり課						A				
評価分析と課題 自殺者数については毎年ばらつきはあるが、コロナ禍において、見えない感染症や経済に対する不安等が原因で、社会全体の自殺リスクが高まっていると言われていることから、企業等と連携したところの健康づくりや自殺予防に関する啓発活動を継続していく必要がある。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	コロナ禍における社会状況や自殺実態のプロファイルを参考にしながら、重点的な啓発が必要な年代や対象を検討していく必要がある。啓発活動に関しては、感染症予防対策をしながら、実施していくことも必要である。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	健康づくり課			
R2	政策	1 適度な運動や正しい食生活でみんなが健康なまちづくり							担当課	健康づくり課、環境推進課			
	施策	4 予防接種事業の実施により疾病予防を行います											
	SDGsゴール	3											
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	40,619	68,376	368,497	施策費増減額	0	40,619	27,757	300,121			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	168%	539%			
	施策事業費(決算)	0	0	62,738		一般財源増減額	0	19,068	32,003	98,118			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	268%	292%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	4 予防接種事業の実施により疾病予防を行います		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	乳幼児予防接種の周知回数(年)	回	2	2	2	2	3	2	150.0%	S	S	
	成果2	高齢者予防接種の周知回数(年)	回	2	2	6	9	12	2	600.0%	S	S	
	効率												
指標分析と課題		乳幼児予防接種についてこども予防接種週間に広報、ホームページに掲載。令和2年度は、10月からロタウイルス予防接種が新規で始まったため広報菊川に掲載した。肺炎球菌及びインフルエンザワクチン予防接種について、ホームページへの掲載、ちゃこちゃんメール、長寿介護課で実施している70歳講座を活用し、計12回周知を実施した。今後も接種希望者に情報が届くよう機会を捉え、情報発信をしていく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	予防接種事業(健康づくり課)	重	健康づくり課					A				
	2	感染症予防事業		環境推進課					A				
	3	新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	新	健康づくり課					A				
評価分析と課題		疾病予防のために予防接種についての啓発や情報提供は継続していく。茶こちゃんメール発信後は問い合わせも増えるため、SNSも活用しながら効果的な周知をしていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	C	施策規模・内容・主体の見直し検討			R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ③施策内容		
	改善・加える変化	まずは65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種が新たに開始される。国の示すスケジュールに沿い、関係機関と調整を図りながら、また、全庁的に協力を求めながら接種を進めていく。											
	担当課別評価	環境推進課	市内で法定伝染病等が発生した際には感染拡大防止のため、速やかに消毒作業を実施する。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	長寿介護課			
R2	政策	2 高齢者が元気にいきいきと暮らせるまちづくり										担当課	長寿介護課			
	施策	1 高齢者の介護予防と生きがいを進めます														
		SDGsゴール	1	3	8	10	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	534,739	31,622	18,303	施策費増減額		0	534,739	△ 503,117	△ 13,319				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	6%	58%				
	施策事業費(決算)		0	0	30,695	一般財源増減額		0	511,392	△ 481,536	△ 13,466					
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	6%	55%					
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	1 高齢者の介護予防と生きがいを進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	介護予防リーダー(ボランティア)養成研修の参加者数(累計)	人	29	419	169	189	196	202	97.0%	B	D				
	成果2															
効率																
指標分析と課題		介護予防リーダー養成講座の修了者は7人で前年度を下回った。令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により、高齢者の地域活動のほか、介護予防教室や講座などの市の事業への応募も減少するなか、3密対策等を講じながらの実施となった。介護予防活動は今後さらに重要となってくるため、引き続き地域活動の支援やリーダーの育成が必要である。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価				総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果		効率		事業内容評価	判定評価	R4の方向性			
							1	2	1	人件費			コスト	成果	改善	
	1	高齢者等社会福祉施設管理事業				長寿介護課					A					
	2	シルバー人材センター活用推進事業				長寿介護課					A					
	3	敬老会事業				長寿介護課					D					
	4	高齢者等社会福祉事業				長寿介護課					A					
	5	介護保険事業計画事業				長寿介護課					A					
	評価分析と課題		令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により、老人クラブ連合会の各種事業が中止となり、事業費補助金は減となった。また、敬老会も中止したが、記念品の配布や100歳以上の希望者には市長または幹部職員がお祝いに個別訪問した。なお、敬老会については以前から出席率の低下等の課題があり、新たな方法を検討してきた。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 拡充↑	改善 ②施策規模						
	改善・加える変化	敬老会対象者は高齢化により増加する反面、出席率は年々低下している。また、各会場のキャパシティや空調設備等に課題があった。令和3年度からは対象年齢を限定し、会場もアエルに集約する方針だが、理解を得ながら進めていきたい。このほか、新たに第8期介護保険事業計画を策定したため、計画に沿って各種事業を推進していく。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	長寿介護課				
R2	政策	2 高齢者が元気にいきいきと暮らせるまちづくり										担当課	長寿介護課				
	施策	2 地域包括ケアの体制を充実します															
		SDGsゴール	1	3	8	10	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
	施策事業費(予算)		0	55,793	75,775	76,711	施策費増減額		0	55,793	19,982	936					
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	136%	101%					
	施策事業費(決算)		0	0	72,452		一般財源増減額		0	33,703	703	△ 7,553					
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	102%	78%					
コスト分析と課題																	
指標評価	総合計画											行政評価					
	2 地域包括ケアの体制を充実します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価					
	成果1	認知症サポーター養成の人数(累計)	人	2,012	3,800	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	S	B					
	成果2																
	効率																
	指標分析と課題		住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症について正しく理解し手助けできる人を増やすため認知症サポーター養成講座を実施し、延人数は4,111人となった。地域の見守り役として受講者による「わんわんパトロール隊」にも取り組んでいるが、講座受講後の活躍の場や具体的な支援につなげる仕組みが必要である。														
評価分析	関連事業																
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△		
			成果	効率			判定評価	R4の方向性									
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善								
	1	在宅医療と介護の連携促進事業															
	2	一部事務組合事業(高齢者福祉事業・小笠老人ホーム施設組合)			長寿介護課												
	3	在宅福祉事業			長寿介護課												
	4	包括的支援事業															
	5	介護予防ケアマネジメント事業															
	6	地域自立生活等支援事業															
7	認知症総合支援事業																
8	予防事業(長寿介護課)			長寿介護課													
評価分析と課題		地域の見守り体制の整備のほか、事業所・医療機関・包括支援センターが連携し、高齢者の暮らしを支え、必要なサービス等につなげる地域包括ケアシステムの深化・推進に努めてきた。今後も高齢者の増加が見込まれており、より一層の支援体制や連携強化に取り組む必要がある。															
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方							
	改善・加える変化	高齢者が増えているため、包括支援センターと小笠地域のランチによる高齢者相談体制については、機能強化を図る必要がある。検討の結果、令和4年度から介護予防プランの作成なども実施できる出張所として開設する方針とした。また、在宅医療と介護の連携について、医療・介護の専門職の関係づくりのほか、市民にも広く周知していく。															

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	長寿介護課			
R2	政策	2 高齢者が元気にいきいきと暮らせるまちづくり										担当課	長寿介護課			
	施策	3 高齢者の生活を支援する介護サービスを推進します														
		SDGsゴール	1	3	8	10	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	38,451	591,634	573,219	施策費増減額		0	38,451	553,183	△ 18,415				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	1539%	97%				
	施策事業費(決算)		0	0	577,424		一般財源増減額		0	32,598	521,475	△ 6,432				
施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	1700%	99%					
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	3 高齢者の生活を支援する介護サービスを推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	要介護認定者(第1号)の割合(第1号被保険者に占める割合)	%	14.2	17.2	13.4	13.9	14.4	15.5	107.6%	S	B				
	成果2															
効率																
指標分析と課題		高齢化率も上昇しており、要介護認定者の割合も少しずつ増えている。それぞれの対象者に必要な支援制度や介護サービスに適切につなげられるよう、今後も支援体制の整備や介護事業所との情報共有に努めていく。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	旧東部デイサービスセンター管理事業			長寿介護課				A							
	2	地域密着型サービス事業			長寿介護課				A							
	3	福祉施設措置事業			長寿介護課				A							
	4	老人福祉総務事業			長寿介護課				A							
	5	事業管理事業			長寿介護課				A							
	6	徴収管理事業			長寿介護課				A							
7	事業所管理事業			長寿介護課				A								
8	特別会計繰出金			長寿介護課				A								
9	老人福祉施設等整備補助事業			新 長寿介護課				A								
評価分析と課題		コロナウイルス感染症については、市内介護事業所の徹底した対策によって感染者やクラスターは発生していないが、予定していた事業所連絡会や実地指導ができていない。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	介護事業所の管理・指導などについて、事業所連絡会や実地指導を行わなければならないが、コロナ対策を踏まえ、書面での調査・指導など、実施方法について検討していく必要がある。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	福祉課			
R2	政策	3 地域のなかで、互いに支え合うまちづくり								担当課	福祉課			
	施策	1 地域における市民の福祉活動を支援します												
	SDGsゴール	10	11											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	42,586	42,173	75,931	施策費増減額	0	42,586	△ 413	33,758				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	99%	180%				
	施策事業費(決算)	0	0	40,186		一般財源増減額	0	37,740	406	△ 6,901				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	101%	82%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	1 地域における市民の福祉活動を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	コミュニティ協議会の福祉部に携わる人数	人	200	220	222	233	219	209	104.8%	B	B		
	成果2													
効率														
指標分析と課題		地域福祉計画に基づき行政、社会福祉協議会、地域が連携し進めるコミュニティ協議会の福祉部に携わる人数は、目標値との比較では達成がされたが、前年からは減少した。これは新規加入者の減少によるものであり、市民活動の活発化のための検討が必要である。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果	効率	判定評価	R4の方向性				
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	プラザけやき管理事業			福祉課					A				
	2	プラザけやき施設整備事業			福祉課					A				
	3	協和会館運営事業			福祉課					A				
	4	公用車管理事業(福祉課)			福祉課					A				
	5	災害救助事業			福祉課					B				
	6	人権・地域改善推進事業			福祉課					A				
7	社会福祉総務事業			福祉課					A					
8	避難行動要支援者支援事業			福祉課					A					
9	戦没者支援事業			福祉課					B					
評価分析と課題		施設等の管理は適正に行った。災害救助事業においては、消防本部や危機管理課と情報共有し、効率的に調査等を行う必要がある。また、避難行動要支援者支援事業においては、同意率の向上を図るとともに、法改正に合わせた対応が求められる。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	少子高齢化が進むにつれ、避難行動要支援者は増加することから、災害時の福祉活動を円滑に進めるための仕組みづくりが求められている。災害時の基礎資料となる避難行動要支援者の、個別計画策定を推進する必要がある。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	福祉課		
R2	政策	3 地域のなかで、互いに支え合うまちづくり								担当課	福祉課		
	施策	2 地域福祉の担い手を育成・支援します											
	SDGsゴール	17											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	64,091	61,996	63,591	施策費増減額	0	64,091	△ 2,095	1,595			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	97%	103%			
	施策事業費(決算)	0	0	61,837		一般財源増減額	0	57,871	△ 3,527	2,216			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	94%	104%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 地域福祉の担い手を育成・支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	福祉ボランティア等に携わる人数	人	850	1,000	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		社会福祉協議会に登録されている福祉ボランティアは、大きく減少している。これは新型コロナウイルス感染症の影響で新規加入者が少なかったことの影響が大きい。地域共生社会の実現には活発な市民活動が不可欠であるため、担い手育成の充実が求められる。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	社会福祉協議会事業	福祉課					A					
	2	民生委員活動事業	福祉課					A					
	3	成年後見制度促進事業	福祉課					A					
	4	更生保護支援事業	福祉課					A					
	評価分析と課題		民生委員・児童委員、保護司及び社会福祉協議会の活動支援を適正に実施した。また、社会福祉協議会と協働し、市民後見人の養成を行い年度末には2名の市民後見人候補者を登録した。地域共生社会の実現に向け、成年後見制度の充実のため市民後見人の育成支援を行うとともに、制度周知を進める必要がある。										
	総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
改善・加える変化		菊川市の成年後見制度を支えるため、中核機関の設置が求められている。掛川市・御前崎市及び各市社会福祉協議会と連携し、効率的に進める必要がある。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	福祉課		
R2	政策	3 地域のなかで、互いに支え合うまちづくり								担当課	福祉課		
	施策	3 地域のなかでの自立した生活を応援します											
		SDGsゴール	1	3									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	147,990	153,843	148,147	施策費増減額	0	147,990	5,853	△ 5,696			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	104%	96%			
	施策事業費(決算)	0	0	143,878		一般財源増減額	0	39,053	17,507	△ 9,520			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	145%	83%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 地域のなかでの自立した生活を応援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	就労支援を利用し就労に繋がった人数の割合	%	70.5	80	68.2	54.5	68.8	74.7	92.0%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		生活保護や生活困窮者自立支援事業のなかで、就労により自立が見込まれるケースに対して就労支援を行った。生活困窮の要因は就労以外のものもあるため、ケースそれぞれにあった支援を行っていく必要があり、今後も相談内容を的確に把握し、関係部署と連携を図り、支援を行う必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	生活困窮者自立支援事業	福祉課						A				
	2	生活保護総務事業	福祉課						A				
	3	生活保護事業	福祉課						A				
	4	社会福祉援護事業	福祉課						A				
評価分析と課題		生活保護や生活困窮者自立支援事業はそれぞれの法に基づいた事業であり、また、DV相談や行旅病人等は緊急かつ応急的に対応が必要な事業のため、社会情勢に沿った対応を今後も行っていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性				コスト	成果	改善			
								維持→	維持→	①施策の進め方			
改善・加える変化		緊急かつ応急的に対応が求められる事業のため、社会情勢に沿った対応を今後も行っていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	福祉課			
R2	政策	4 障がいのある人が地域のなかで、安心して暮らすことができるまちづくり							担当課	福祉課			
	施策	1 障がいのある人の自立した生活を支援します											
		SDGsゴール	3	8									
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	623,795	699,448	640,513	施策費増減額		0	623,795	75,653	△ 58,935	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	112%	92%	
	施策事業費(決算)		0	0	683,006		一般財源増減額		0	190,143	57,195	△ 51,608	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	130%	79%	
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 障がいのある人の自立した生活を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	福祉的就労支援を利用する人の数(就労移行・就労継続支援A型・B型)	人	156	170	160	169	168	162	103.7%	B	B	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉的就労支援サービスの利用が減少すると思われたが、ほぼ前年と同じ状況であった。一般就労へのステップとなるよう、適正な給付決定が求められる。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	障害者自立支援医療事業	福祉課							A			
	2	訓練等給付事業	福祉課						A				
	3	介護給付事業	福祉課						A				
	4	障害者自立支援給付事業	福祉課						A				
	5	障害者相談支援事業	福祉課						A				
	6	地域ふれあいホーム管理事業	福祉課						A				
	7	身体障害者福祉事業	福祉課						A				
	8	知的障害者福祉事業	福祉課						A				
	9	精神障害者福祉事業	福祉課						A				
	10	障害者福祉施設整備補助事業	福祉課						A				
11	障害者認定審査会事業	福祉課						A					
12	障害者支援事業	福祉課						A					
13	障害者福祉総務事業	福祉課						A					
評価分析と課題		地域に暮らす障がいのある人が、日常生活を毎日送る上で適正な障害福祉サービスの利用ができるよう、今後も適正な支給決定をする必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	必要な方に適正な支給決定ができるよう、障害者自立支援協議会などでサービス提供事業所と一層の連携を進める必要がある。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	福祉課		
R2	政策	4 障がいのある人が地域のなかで、安心して暮らすことができるまちづくり								担当課	福祉課		
	施策	2 障がいのある人の地域での活動を促進します											
	SDGsゴール	3	10										
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	104,036	102,749	112,106	施策費増減額	0	104,036	△ 1,287	9,357			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	99%	109%			
	施策事業費(決算)	0	0	100,860		一般財源増減額	0	69,189	△ 1,674	9,794			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	98%	115%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	2 障がいのある人の地域での活動を促進します	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	手話通訳者・要約筆記者派遣回数	回	480	560	479	539	412	516	79.8%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣事業にも大きく影響が出た。今後についても感染状況により利用量は変わるが、利用者の生活を支える制度として、必要な場合にはきちんと対応ができる体制を整える必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	障害者地域生活支援事業	福祉課						A				
	2	一部事務組合事業(障害者福祉事業・東遠学園組合)	福祉課						A				
評価分析と課題		新型コロナウイルス感染症の影響により利用控えはあったものの、適正な支給決定を行うことができた。東遠学園組合への負担金については、今後、毎日通園の拡充に伴い、負担が増加することが予想される。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ②施策規模			
	改善・加える変化	今後においても必要な事業であることから、適正な事務執行に努める。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	福祉課			
R2	政策	4 障がいのある人が地域のなかで、安心して暮らすことができるまちづくり							担当課	福祉課			
	施策	3 障がいのある子どもの福祉サービスを充実します											
		SDGsゴール	3										
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	186,463	262,609	255,099	施策費増減額	0	186,463	76,146	△ 7,510			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	141%	97%			
	施策事業費(決算)	0	0	253,233		一般財源増減額	0	46,620	64,077	△ 46,918			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	237%	58%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 障がいのある子どもの福祉サービスを充実します	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	放課後等デイサービス利用者実人数	人	72	91	88	116	127	80	158.8%	S	S	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		制度利用が、発達障害の認知が進むにつれ増加している。障がいのある児童に対しての、早期療育の実施を希望する傾向から、今後も増加すると考えられる。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	障害児者手当事業	福祉課						A				
	2	障害児通所支援事業	福祉課						A				
評価分析と課題		障害児者手当の支給に関しては、適正に支給を行った。児童福祉法に基づく障害福祉サービスについては、早期の療育を目的としており、今後の生活能力の向上や集団生活への適応を向上させるため、適時利用が可能である体制を維持する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	支給決定に際しては、必要な書類や面談を通して決定をしている。今後も国の動向や東遠地域の事業所の設定状況等を踏まえ、適正な支給決定に努めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	地域医療支援課(病院)				
R2	政策	5 入院から在宅まで安心して医療を受けることができるまちづくり							担当課	地域医療支援課(病院)				
	施策	1 医療機関、介護・福祉施設などとの連携を進めます												
	SDGsゴール	3												
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	0	0	0	施策費増減額		0	0	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
	施策事業費(決算)	0	0	0		一般財源増減額		0	0	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
	コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価		
	1	医療機関、介護・福祉施設などとの連携を進めます	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	菊川病院への紹介率	%	0	40	47.5	47.2	44.5	37.6	118.4%	S	A		
	成果2	菊川病院からの逆紹介率	%	0	30	22.5	26.4	31	28.7	108.0%	S	B		
	効率													
	指標分析と課題	救命救急、小児医療など当院では対応できない医療はIT連携による情報共有を行うなど近隣病院との連携を強化すると共に近隣診療所からの紹介患者や委託検査を受け入れている。一医療機関で全ての診療機能を担うことは不可能である。二次医療圏内で急性期医療を確保していくためには、機能分担や効率的な医療連携が必要となってくる。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善	
	1	近隣病院・診療所との連携推進事業	地域医療支援課											
	2	介護・福祉施設等との連携推進事業	地域医療支援課											
		評価分析と課題	ふじのくにネットや静岡県在宅医療・介護連携情報システムを活用して患者情報を共有すると共に、病院・施設連絡会や在宅医療カンファレンスの開催により患者を中心とした連携を推進している。今後は高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が増えていくため、退院後の療養生活を支援する連携・協力体制を強化する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性				コスト	成果	改善				
								維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化	地域医療構想に基づき中東遠二次医療圏における当院の役割を明確にし、不足する医療機能を互いに補完し合えるよう、人材面・機能面・情報面で連携を強化していくと共に診療所のかかりつけ医機能・在宅医療をサポートするため、検査・入院医療を中心に、診療所が当院に紹介しやすい仕組みを整えていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	病院総務課			
R2	政策	5 入院から在宅まで安心して医療を受けることができるまちづくり							担当課	病院総務課、健康づくり課			
	施策	2 菊川市立総合病院の機能を充実します											
	SDGsゴール	3											
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	1,134,322	1,145,259	1,197,528	施策費増減額		0	1,134,322	10,937	52,269		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	101%	105%		
	施策事業費(決算)	0	0	1,144,992		一般財源増減額		0	1,128,363	△ 3,104	67,727		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	100%	106%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 菊川市立総合病院の機能を充実します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	医師数	人	27	27	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		脳外科や小児科など当院に不足している領域については、近隣医療機関と連携して地域完結型の医療を推進している。休日・夜間の救急体制を継続して行くためには、医師の確保が課題であり、引き続き派遣元の浜松医科大学との関係性を強化するとともに、業務の負担軽減策を進め、常勤医師の招聘に努める。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	病院事業	健康づくり課						A				
	2	一部事務組合事業(病院事業・中東遠看護専門学校組合)	健康づくり課						A				
	3	手術等の急性期医療提供事業	病院総務課										
	4	在宅復帰に向けた回復期医療提供事業	病院総務課										
5	うつ病等精神科医療提供事業	病院総務課											
6	二次救急医療提供事業	病院総務課											
7	高度医療機器等の更新	病院総務課											
評価分析と課題		二次救急医療機関として周辺市からも救急患者を受け入れ、急性期医療の提供から在宅復帰までの支援を推進している。また、精神科の急性期医療及び身体合併症を受け入れられる医療機関として幅広く受け入れている。高度医療機器等については計画的に購入し、看護師確保についても修学資金の貸付や中東遠看護専門学校へのリクルート活動を行った。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	現在の診療機能を維持して行くためには医師の確保は最重要課題であり、引き続き浜松医科大学や近隣病院と連携を密にし、臓器別専門医と家庭医の招聘を進める。また、救急体制維持のため、家庭医などの若手医師の招聘を推進すると共に三次救急医療機関との連携を強化していく。											
	担当課別評価	健康づくり課	地域医療の中核を担う菊川市立総合病院の安定した経営・機能充実を図るために必要な経費について、財政支援(一般会計から病院事業会計への繰出し)を行っている。安定した経営を支援するため、必要な経費についての支援を継続する。また、休日・夜間の急患(医科・歯科)対応及びPCR検査体制の確保のため、3市で急患診療所及びPCR検体採取センター運営にかかる負担金を拠出している。これらも継続することで、菊川市立総合病院の負担軽減を図ることができる。5市1町で構成する中東遠看護専門学校運営にかかる分担金を拠出している。奨学金免除者(学校卒業後、菊川市立総合病院に看護師として3年間勤務した者)に対する奨学金負担金の拠出をしている。奨学金免除者は年度によりばらつきはあるが、看護師確保に有効な制度となっているため、引き続き実施していく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	経営企画課(病院)				
R2	政策	5 入院から在宅まで安心して医療を受けることができるまちづくり							担当課	経営企画課(病院)				
	施策	3 家庭医養成プログラムを推進します												
	SDGsゴール	3												
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	0	0	0	施策費増減額		0	0	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
	施策事業費(決算)	0	0	0		一般財源増減額		0	0	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	3 家庭医養成プログラムを推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	家庭医療センター(あかつちクリニック)1日当たりの延べ患者数	人	0	150	106	102.6	100.4	122	82.3%	B	D		
	成果2													
効率														
指標分析と課題		訪問看護ステーションや調剤薬局・ケアマネジャーとの連携により、24時間365日の緊急往診にも対応できる在宅医療を提供し、看取りを希望する患者・家族の希望に応えることができた。また、国保特定健診や予防接種により予防・健診事業を推進した。今後も家庭医の招聘を引き続き行っていく必要がある。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善		
	1	多職種事業所との連携による在宅医療提供事業	経営企画課											
	2	予防・健診事業	経営企画課											
評価分析と課題		在宅医療の連携施設との在宅カンファレンス(月1回)の実施や静岡県在宅医療・介護連携情報システムを使った患者情報の共有を推進しているが、増加する在宅医療ニーズへの対応が課題となっている。また、特定健診・高齢者健診の実施枠を午後まで拡大したことにより受診者数が大きく増加したが、現状の体制では受入れ数の上限に達しつつある。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性				コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	静岡家庭医養成協議会、浜松医科大学と連携し、家庭医の招聘を進めると共に菊川病院と家庭医療センターが連携を強化することで、より安心できる在宅療養環境を整えていく。 また、家庭医の安定的な確保に努めると共に引き続き患者への特定健診受診や予防接種の啓発を行っていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	健康づくり課				
R2	政策	5 入院から在宅まで安心して医療を受けることができるまちづくり										担当課	健康づくり課、経営企画課 (病院)				
	施策	4 市民と行政が連携して地域医療支援の充実を目指します															
		SDGsゴール	3	17													
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
	施策事業費(予算)		0	1,115	2,992	925	施策費増減額		0	1,115	1,877	△ 2,067					
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	268%	31%					
	施策事業費(決算)		0	0	2,074		一般財源増減額		0	1,115	1,877	△ 2,067					
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	268%	31%					
コスト分析と課題																	
指標評価	総合計画											行政評価					
	4 市民と行政が連携して地域医療支援の充実を目指します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価					
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度							
	成果1	地域医療を守る会との情報交換会の年間開催数	回	1	1	1	1	1	1	100.0%	S	B					
	成果2																
効率																	
指標分析と課題		令和2年度も菊川市立総合病院と菊川市地域医療を守る会との懇談会を1回開催した。コロナ禍における診療状況についての報告や新型コロナウイルス感染症予防対策についての講話、医療従事者に対する感謝のメッセージの伝達を行った。今後も情報交換を通じ、お互いの現状や活動について深め合い、地域へ発信していく必要がある。															
評価分析	関連事業																
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
			成果	効率			判定評価	R4の方向性									
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善								
	1	保健衛生総務事業				健康づくり課											
	2	地域医療啓発事業				経営企画課											
	3	菊川市地域医療を守る会との連携				経営企画課											
	評価分析と課題		地域の医療に関する現状を把握すると共に、適性受診に関する啓発、医療従事者に対する感謝と敬意を届ける活動等、地域医療を守り育てる住民団体の活動について、事務局として引き続き支援していく必要がある。また、保健・医療を支える関係機関団体との連携、負担金の拠出等も継続して行っていく。														
総合評価	総合判定評価		A	計画どおりに施策を進めることが適当				R4年度の方向性			コスト	成果	改善				
											維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化		コロナ禍において、地域医療を守る会としての活動が制限されている。感染予防対策を行いながら、医療の現状だけでなく、健康長寿に関する内容も含めた啓発活動が実施できるよう支援していく。														
担当課別評価	経営企画課		「菊川市地域医療を守る会」については、懇談会を実施し、情報交換や相互の理解を深めたと共に、当院の医療従事者に向けた感謝状や市民からのメッセージをいただいた。市民に対しては、出前行政講座や地域の皆さま感謝デー等を行い、医療の展望や保健予防等の啓発活動を行っていく。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	社会教育課	
R2	政策	6 生涯にわたり学べるまちづくり										担当課	社会教育課	
	施策	1 生涯学習活動を推進します												
	SDGsゴール	4	11	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	335	27	1,564	施策費増減額	0	335	△ 308	1,537				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	8%	5793%				
	施策事業費(決算)	0	0	27		一般財源増減額	0	335	△ 1,238	1,862				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	-270%	-106%				
	コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価		
	1 生涯学習活動を推進します	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価			
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度					
	成果1	生涯学習講座の参加者数	人	515	600	375	428	30	553	5.4%	現未	E		
	成果2	効率												
	指標分析と課題	生涯学習講座の参加者数は、新型コロナウイルス感染症対策のためステップアップ講座・ことぶき講座の開講を中止し、ことぶき講座の代替として実施した1回完結型の「生涯学習ミニ講座」の参加者実績による。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善		
	1	生涯学習まちづくり事業	社会教育課						A					
	評価分析と課題	コロナ禍において、高齢者を対象としたステップアップ講座・ことぶき講座の開講は困難な状況である。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善				
							縮小↓	縮小↓	①施策の進め方					
	改善・加える変化	感染症が収束するまでは、生涯学習に関する情報提供や開催回数、人数を限定した事業の実施を行う必要がある。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	図書館	
R2	政策	6 生涯にわたり学べるまちづくり										担当課	図書館	
	施策	2 読書環境の整備に努めます												
	SDGsゴール	4	11	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	67,830	74,281	73,326	施策費増減額	0	67,830	6,451	△ 955				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	110%	99%				
	施策事業費(決算)	0	0	73,608		一般財源増減額	0	67,765	6,452	△ 932				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	110%	99%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	2 読書環境の整備に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	市民1人あたりの蔵書冊(点)数	冊	5.6	6	5.6	5.7	5.8	5.8	100.0%	B	B		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		菊川文庫・小笠図書館両館で10,511点の資料を受入れ、9,583冊を除籍し利用者のニーズを考慮した適正な蔵書管理に努めた。除籍した資料は、リサイクル市で市民へ無償提供するなど有効活用している。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善	
	1	図書館総務事業	図書館							A				
	2	図書館管理事業	図書館						A					
	3	公用車管理事業(図書館)	図書館						A					
評価分析と課題		次年度は資料費の削減によるサービス低下が心配される。各館の資料収集について、役割分担が必要となっている。両館共に老朽化による修繕箇所が年々増えており、定期的に安全点検を行う必要がある。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 維持→	改善 ②施策規模			
	改善・加える変化	利用者のニーズを把握しながら、各館の特色と結びつけた資料収集を行っていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち										主管所属	図書館	
R2	政策	6 生涯にわたり学べるまちづくり										担当課	図書館	
	施策	3 読書機会の提供・読書活動の啓発に努めます												
	SDGsゴール	4	11	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	0	1,254	1,278	施策費増減額	0	0	1,254	24				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	102%				
	施策事業費(決算)	0	0	1,251		一般財源増減額	0	0	1,254	24				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	102%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	3 読書機会の提供・読書活動の啓発に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	市民1人あたりの総貸出冊(点)数	冊	7.4	9	8.2	7.9	6.5	8.1	80.2%	現未	E		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館、サービス制限、イベントの中止を行ったことにより、貸出冊数は大きく減少した。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
							成果	効率	判定評価		R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	図書館サービス事業				図書館				B				
評価分析と課題		地域の情報センターとしての役割を担うために、いかなる場合もサービスが制限されない運営が望まれる。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	オンラインサービスの活用により、随時情報発信できる手法を検討するとともに、各館の特色を生かした資料収集や事業展開を行っていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	7 芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	1 鑑賞機会の提供に努めます											
	SDGsゴール	4	11										
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	2,000	2,000	2,000	施策費増減額	0	2,000	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%			
	施策事業費(決算)	0	0	2,000		一般財源増減額	0	2,000	0	0			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 鑑賞機会の提供に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	文化会館自主公演事業の入場率	%	88.3	90	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		文化会館自主公演事業の入場率は、新型コロナウイルス感染症の影響によりAEL ENJOY LIVEの中止やミュージカルと第九コンサートの次年度延期に伴い目標を達成することはできなかった。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	文化会館事業振興事業	社会教育課						A				
評価分析と課題		テレビやWEBなどの媒体だけでは得ることのできない生の芸術・文化体験を、年齢・性別に関わらず広く市民一般に提供するため、今後も多種多様な公演を計画し実行する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	感染症が収束するまでは、指定管理者と連携の上、状況によっては規模縮小・延期も視野に入れつつ文化振興事業の振興に努める。											
							維持→	維持→	①施策の進め方				

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	7 芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	2 市民の文化・芸術活動を支援します											
	SDGsゴール	4	11										
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	115,579	126,274	247,969	施策費増減額	0	115,579	10,695	121,695			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	109%	196%			
	施策事業費(決算)	0	0	125,438		一般財源増減額	0	113,675	9,348	△ 11,065			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	108%	91%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	2 市民の文化・芸術活動を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	文化祭の来場者数	人	H27年度 3,250	R7年度 4,000	H30年度 2,432	R1年度 2,637	R2年度 0	R2年度 3,583	R2年度 0.0%	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		文化祭の来場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により文化祭を中止したため目標を達成することはできなかった。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業 コスト 評価	指標評価				事業 内容 評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定 評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件 費	コスト	成果	改善						
	1	代官屋敷資料館管理事業	社会教育課					A					
	2	文化会館整備事業	社会教育課					A					
	3	埋蔵文化財センター管理事業	社会教育課					A					
	4	芸術文化振興事業費	社会教育課					A					
	5	文化会館管理事業	社会教育課					A					
	6	公民館管理事業	社会教育課					A					
評価分析と課題		文化振興計画を推進するため、文化協会を支援するとともに菊川文化会館アエル、中央公民館、埋蔵文化財センターどきどき、代官屋敷資料館等の文化・芸術活動の拠点施設を適正に管理する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	老朽化した文化施設の長寿命化を図っていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	7 芸術や文化に親しみ歴史・文化遺産が継承され活かされているまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	3 文化財の保存・周知・活用を推進します											
		SDGsゴール	4	11									
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	56,707	30,014	38,476	施策費増減額		0	56,707	△ 26,693	8,462	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	53%	128%	
	施策事業費(決算)		0	0	28,083		一般財源増減額		0	43,077	△ 21,291	1,879	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	51%	109%	
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	3 文化財の保存・周知・活用を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	出前行政講座及び体験教室等の参加者数	人	208	250	348	172	40	227	17.6%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		出前行政講座及び体験教室等の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が減少し、目標を達成できなかった。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	文化・顕彰活動支援事業	社会教育課					A					
	2	市文化財保存管理整備事業	社会教育課					A					
	3	塩の道公園管理事業	社会教育課					A					
	4	菊川城館遺跡群整備事業	社会教育課					A					
	5	文化財保護事業	社会教育課					A					
	6	遺跡発掘調査総務事業	社会教育課					A					
評価分析と課題		コロナ禍においては、文化財の周知活動は厳しい状況である。新型コロナウイルス感染症の影響が少ない文化財保存管理整備事業、菊川城館遺跡群整備事業、遺跡発掘調査総務事業を推進する。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	文化財の保存・周知・活用を推進するため、主に文化財保存管理整備事業、菊川城館遺跡群整備事業、遺跡発掘調査総務事業を実施していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	8 スポーツが盛んなまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	1 誰もがスポーツに触れ合う機会を創出します											
		SDGsゴール	11	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	10,956	3,014	10,191	施策費増減額	0	10,956	△ 7,942	7,177			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	28%	338%			
	施策事業費(決算)	0	0	2,834		一般財源増減額	0	10,808	△ 7,909	7,187			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	27%	348%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	1 誰もがスポーツに触れ合う機会を創出します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	スポーツ教室、大会等参加者数	人	2,268	2,300	H30年度 3,577	R1年度 3,417	R2年度 975	R2年度 2,282	R2年度 42.7%	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		スポーツ教室、大会等参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により親子スポーツ教室やニュースポーツの交流大会、スポーツレクリエーションフェスティバル、市民健康駅伝競走大会等の中止に伴い、目標を達成できなかった。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	スポーツ推進委員活動事業	社会教育課					A					
	2	指導者養成事業	社会教育課					A					
	3	保健体育総務事業	社会教育課					A					
	4	スポーツ大会推進事業	重 社会教育課					A					
	5	生涯スポーツ推進事業	重 社会教育課					A					
	評価分析と課題		感染症が収束するまでは、スポーツイベント等の開催は厳しい状況である。										
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	感染症が収束するまでは、関係者との協議の上、状況によっては開催方法の変更や規模縮小、中止も視野に入れ、感染対策に努める。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち								主管所属	社会教育課		
R2	政策	8 スポーツが盛んなまちづくり								担当課	社会教育課		
	施策	2 スポーツ活動の場を提供します											
		SDGsゴール	11	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	67,062	108,682	75,459	施策費増減額		0	67,062	41,620	△ 33,223	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	162%	69%	
	施策事業費(決算)		0	0	108,359		一般財源増減額		0	66,601	22,671	△ 20,587	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	134%	77%	
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 スポーツ活動の場を提供します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	スポーツ施設年間利用者数	人	244,924	255,000	486,874	469,995	331,354	249,402	132.9%	S	A	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		スポーツ施設年間利用者数の目標は達成できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により体育施設の貸出を一時中止したため、前年度実績を下回った。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	公園体育施設管理事業	重 社会教育課							A			
	2	グラウンド体育館管理事業	社会教育課						A				
評価分析と課題		令和2年12月31日以降の水銀灯の製造・輸出入の禁止を踏まえ、公共体育施設照明灯のLED化の計画を立て、施設の適切な管理・運営を行っていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	スポーツ施設の更新年次計画を立て、計画的に工事を実施していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	2 健康で元気に暮らせるまち							主管所属	社会教育課			
R2	政策	8 スポーツが盛んなまちづくり							担当課	社会教育課			
	施策	3 スポーツ団体・スポーツ活動を支援します											
	SDGsゴール	3	11	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	259	147	0	施策費増減額		0	259	△ 112	△ 147		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	57%	0%		
	施策事業費(決算)	0	0	118		一般財源増減額		0	259	△ 112	△ 147		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	57%	0%		
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 スポーツ団体・スポーツ活動を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	菊川市体育協会、スポーツ少年団の加入者数	人	2,478	2,800	2,526	2,543	2,419	2,621	92.3%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		菊川市体育協会、スポーツ少年団の加入者数は、前年度と比べ減少した。主な理由はグラウンドゴルフ協会会員の高齢化に伴う会員数の減少が挙げられる。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	スポーツ大会出場支援事業	社会教育課						A				
評価分析と課題		スポーツ団体・スポーツ活動の支援として、全国大会等へ出場した選手及び団体へ奨励金を支給している。菊川市体育協会の組織活性化が必要である。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	スポーツ競技力の向上が必要なため、アプロス菊川やスポーツ団体への支援を進め、推進体制の強化に努めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	農林課		
R2	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり								担当課	農林課		
	施策	1 菊川型農業モデルの創出を図ります											
		SDGsゴール	2	5	8	15							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	4,132	5,265	5,383	施策費増減額		0	4,132	1,133	118	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	127%	102%	
	施策事業費(決算)		0	0	4,607		一般財源増減額		0	4,087	1,178	118	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	129%	102%	
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 菊川型農業モデルの創出を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	複合経営の作物転換に伴う圃場面積(累計)	ha	1.3	25	18.2	19.8	20.7	13.2	156.8%	A	C	
	成果2	効率											
指標分析と課題		高収益作物との複合経営については、茶から新たな作物への転換を図るため、農地転換費用軽減支援事業の活用により0.9haの転換を実施した。今後は、制度のさらなる周知に努めるとともに、転換を推進していく。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	女性の就農推進事業	重 農林課							A			
	2	地域特産物推進事業	重 農林課						A				
	3	複合経営推進事業	重 農林課						A				
	評価分析と課題		農業経営基盤の強化のため、基幹作物と高収益作物との複合経営を推進し、農地の1反当たりの年間収入を上げる取り組みを実施することで農地の有効利用を図り、安定的な農業経営の推進に取り組んだ。水稲や茶の栽培から高収益作物への転換支援を行い、生産の増加を目指していく。										
	総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
		改善・加える変化	相談しやすい環境づくりや、経営の発展のきっかけとなる女性農業従事者の交流を促す。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち										主管所属	農林課			
R2	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり										担当課	農林課			
	施策	2 経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図ります														
		SDGsゴール	2	5	8	15										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	0	1,572	1,581	施策費増減額		0	0	1,572	9				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	101%				
	施策事業費(決算)		0	0	1,539		一般財源増減額		0	0	△ 1,330	1,411				
施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-6%					
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画											行政評価				
	2 経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	農業法人や農業団体等の確保(累計)	経営体・団体	24	30	29	31	35	27	129.6%	S	A				
	成果2	効率														
指標分析と課題		前年度末時点で比較して4つの農業法人が増加した。耕作地の規模拡大等に伴い、法人化の動きは今後も続く見通しであるが、菊川市農業の中心となる担い手の育成と確保のため、新規就農者の掘り起こしが必要である。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
					成果		効率			R4の方向性						
					1	2	1	人件費		判定評価	コスト	成果	改善			
	1	担い手確保育成推進事業	農林課						A							
	評価分析と課題		・認定農業者制度変更により、複数市町での認定となる広域認定者は、市担い手協への諮問ではなくなったことから認定人数が少なくなったが、実認定人数は増加した。 ・人・農地プランの実質化がされていない市内6地区について、令和3年度中に実質化を進め、各種事業に支障がないようにする必要がある。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	農業次世代人材投資事業のサポート体制について、現状の課題を整理し、受け入れ体制の整備や制度の周知を進める。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	農林課		
R2	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり								担当課	農林課		
	施策	3 農業経営基盤の強化を促進します											
	SDGsゴール	2	5	8	15								
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	9,876	19,179	11,968	施策費増減額	0	9,876	9,303	△ 7,211			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	194%	62%			
	施策事業費(決算)	0	0	16,878		一般財源増減額	0	8,079	6,768	△ 5,115			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	184%	66%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 農業経営基盤の強化を促進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	地域特産物の開発数(累計)	件	0	4	1	1	2	2	100.0%	B	D	
	成果2												
効率													
指標分析と課題													
地域特産物推進事業については、「ちゃ豆」において知名度向上のためのPRイベントを実施した。「オリーブ」は、生産者も増加しておりオリーブの葉を加工したほうじ茶の生産販売を開始し、オリーブオイルの搾油も開始したことから、新たな地域特産物の開発数に追加することとした。「高麗人参」は特産物化が難しい状況である。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	水稲振興事業	農林課						A				
	2	水田農業経営所得安定対策推進事業	農林課						A				
	3	災害対策事業	農林課						A				
	4	農業経営基盤強化推進事業	農林課						E				
	5	農地中間管理機構関連事業	農林課						A				
	6	家畜防疫事業	農林課						A				
7	畜産振興総務事業	農林課						A					
8	農業活動推進事業	農林課						A					
9	新型コロナ対策小規模企業者緊急応援事業	新 農林課						A					
評価分析と課題													
経営規模の拡大や農業者経営支援のため、補助申請手続きや農業経営改善計画書の作成支援を実施している。新型コロナウイルス感染症拡大や担い手の高齢化により、生産量、出荷量が減少しているため、スマート農業や省力化を推進し、資機材購入や経営等の支援を実施する必要がある。													
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
							拡充↑	拡充↑	①施策の進め方				
改善・加える変化													
ジャンボタニシの駆除から、薬剤補助に変更していく。ニーズに合わせた補助事業の制度改正を行う。													

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	農林課					
R2	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり								担当課	農林課					
	施策	4 農地の適正な管理と利用を促進します														
		SDGsゴール	2	5	8	15										
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)											
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度						
	施策事業費(予算)	0	25,420	21,093	17,666	施策費増減額	0	25,420	△ 4,327	△ 3,427						
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	83%	84%						
	施策事業費(決算)	0	0	20,723		一般財源増減額	0	24,129	△ 4,195	△ 3,466						
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	83%	83%						
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	4 農地の適正な管理と利用を促進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積面積(累計)	ha	117	150	134	141	166.5	132	126.1%	S	A				
	成果2															
効率																
指標分析と課題		農地集積面積については、河東地区をはじめ内田地区など基盤整備を契機として農地中間管理事業を活用した大規模な農地集積が行われた。今後も荒廃農地解消事業と連携し、担い手への農地集積・集約を進めていく必要がある。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価						
							成果	効率		R4の方向性						
							1	2	1	人件費		判定評価	コスト	成果	改善	R4年度 拡充化○ 縮減化△
	1	農業委員会総務事業			農林課						A					
	2	国有農地等管理処分事業			農林課						A					
	3	農業振興地域管理事業			農林課						A					
	4	農業委員報酬事業			農林課						A					
	5	農業者年金事務事業			農林課						A					
評価分析と課題		平成27年度から、基盤整備事業を活用した大規模な農地中間管理事業など行っていたため、農地集積率が伸びていた。今後は、「人農地プランの実質化」や「荒廃農地調査」など農業委員会と連携を図り、担い手への農地集積や集約を進めていくことが課題である。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	市と農業委員会で随時連携を図り、「人農地プラン」の実質化に伴い地域の担い手への農地集積を図る。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	農林課		
R2	政策	1 農業振興と次世代農業モデルを推進するまちづくり								担当課	農林課		
	施策	5 農業生産基盤の整備と維持管理を行います											
		SDGsゴール	2	5	8	15							
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	353,260	408,055	279,638	施策費増減額	0	353,260	54,795	△ 128,417			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	116%	69%			
	施策事業費(決算)	0	0	399,993		一般財源増減額	0	242,178	35,652	△ 87,027			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	115%	69%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	5 農業生産基盤の整備と維持管理を行います		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	多面的機能支払交付金事業活動組織数(累計)	組織	H27年度 9	R7年度 10	H30年度 8	R1年度 8	R2年度 9	R2年度 9	R2年度 100.0%	B	B	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		多面的機能支払交付金事業活動組織数は、令和2年度から新たに1組織が立ち上がり9組織が活動を行っている。農業・農村の持つ多面的機能の保管理活動を支援する有益な制度であるため、引き続き活動団体の新規掘り起こしに向けた制度の周知に努める必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	大井川右岸土地改良区事業推進事業	農林課							A			
	2	牧之原畑総事業推進事業	農林課						A				
	3	土地改良補助事業	農林課						A				
	4	県事業補助安全施設整備事業	農林課						A				
	5	水利施設整備事業	農林課						A				
	6	湛水防除施設管理事業	農林課						A				
	7	農村地域防災減災事業	農林課						A				
	8	基幹農道整備事業	農林課						A				
	9	土地改良事業総務事業	農林課						A				
	10	農業施設維持管理事業	農林課						A				
11	市単独災害復旧事業(農林課)	農林課						A					
12	国庫補助災害復旧事業(農林課)	農林課						A					
評価分析と課題		多面的機能支払交付金事業の活動は地元組織により計画し実施されるが、荒廃農地の発生防止対策や組織運営など、組織が担う業務は重く、リーダー的役割の人材が不足しているのが現状である。また新規組織の設立にあたって、土地情報の調査など市の支援が必要である。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方					
	改善・加える変化	新規活動組織の設立を目指す地区について、活動内容の参考になる他組織の事例や制度を周知するとともに、組織を引率する人材を育成するよう努めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	茶業振興課		
R2	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり								担当課	茶業振興課		
	施策	1 活力ある茶業の振興を推進します											
	SDGsゴール	2	3	8									
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	787	7,773	7,761	施策費増減額	0	787	6,986	△ 12			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	988%	100%			
	施策事業費(決算)	0	0	7,622		一般財源増減額	0	787	6,636	△ 864			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	943%	88%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 活力ある茶業の振興を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	茶園管理組織経営体数(累計)	経営体	5	16	6	6	6	10	60.0%	C	D	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		令和2年度に新たに認定した経営体はなかったが、㈱うしおの新茶工場が令和3年4月に完成した。今後、農地所有適格法人登録の手続きを進めていく。今年度は計画的に実施する。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	茶園管理推進事業	茶業振興課						A				
2	茶生産経営体育成推進事業	茶業振興課						A					
3	農業振興総務事業(茶業振興課)	茶業振興課						A					
4	新型コロナ対策茶経営体緊急応援事業	新 茶業振興課						A					
評価分析と課題		繰越明許されていた㈱うしおの茶工場が完成した。今後は新たな茶工場の法人化に向けて動き出している組織と話し合いを進めていく。また、新たな経営体の育成や茶園集積など計画的に話し合いを進めていく。昨年度茶業審議会が開催されていないが今年度は計画的に進め来年度、新茶業振興計画の策定を目指す。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト	成果	改善						
	改善・加える変化	牧之原茶園の再編整備プランのモデル地区が令和3年度中に決まっていくため、意見を出していく必要がある。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	茶業振興課		
R2	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり								担当課	茶業振興課		
	施策	2 茶の消費拡大を図ります											
		SDGsゴール	2	3	4	8							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	6,509	416,127	417,922	施策費増減額	0	6,509	409,618	1,795			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	6393%	100%			
	施策事業費(決算)	0	0	11,634		一般財源増減額	0	6,152	△ 82,635	494,405			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	-1243%	-546%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 茶の消費拡大を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	団体自らが行うPR出展数	団体	2	20	19	20	1	10	10.0%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題 新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら進めていく。。													
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率	判定評価		R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	茶業振興事業	重	茶業振興課					A				
	2	農業経営基盤強化推進事業(茶業振興課)	重	茶業振興課					A				
評価分析と課題 新型コロナウイルス感染症終息後、イベントやグリーンツーリズムなど再開していきたい。コロナ禍においてもSNSを活用した新たなPRや給茶機により消費拡大に向けた事業を組み立てていく必要がある。													
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
								維持→	維持→	①施策の進め方			
改善・加える変化 ペットボトルの配布先を確保していきたい。給茶機設置の効果をみて拡充を考えていきたい。													

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	茶業振興課		
R2	政策	2 活力と魅力のある茶のまちづくり								担当課	茶業振興課		
	施策	3 茶文化を継承します											
		SDGsゴール	2	3	4	8							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	870	1,678	1,634	施策費増減額	0	870	808	△ 44			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	193%	97%			
	施策事業費(決算)	0	0	1,673		一般財源増減額	0	870	808	△ 1,094			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	193%	35%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 茶文化を継承します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	お茶の淹れ方教室実施数	箇所	13	30	20	21	10	21	47.6%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		市の出前行政講座の開催は1回。新型コロナウイルス感染症の影響により例年より出前講座は減っている。終息後は、目標達成できると考えている。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	茶文化継承事業	茶業振興課						A				
評価分析と課題		お茶の淹れ方教室を計10回実施した。小学3年を対象として9回、出前行政講座1回。コロナの影響により例年より出前講座は減った。急須を使ったことのない子への効果はある。そのほか茶草場農法についての情報発信や手揉み技術を継承する手揉み保存会とも事業連携していく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ②施策規模			
	改善・加える変化	新型コロナウイルス感染症終息後、外国人が参加する茶交流事業を再開し、手揉み技術など茶文化を広く伝えていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	商工観光課		
R2	政策	3 商工業が活気あるまちづくり								担当課	商工観光課		
	施策	1 就労機会の拡大を図ります											
	SDGsゴール	5	8										
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	448,639	466,439	481,037	施策費増減額	0	448,639	17,800	14,598			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	104%	103%			
	施策事業費(決算)	0	0	466,352		一般財源増減額	0	5,073	759	16			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	115%	100%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 就労機会の拡大を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	なでしこワーク年間来訪者数	人	94	180	122	252	257	132	194.7%	S	S	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		なでしこワークについては、年度ごとに参加者数が増加していることから、必要な事業である。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	就労支援事業	重	商工観光課					A				
	2	労働者福祉対策事業	重	商工観光課					A				
評価分析と課題		なでしこワーク年間来訪者については増加した。これは積極的な情報発信に加えコロナ禍も影響している。引き続き情報発信を行う。 新規大卒者等の就労支援については、地元企業への関心を高め、就職を促進するため、学生を対象とした市内企業見学バスツアーを計画したが、コロナ禍により実施できなかった。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	なでしこワークはワクチン接種事業の影響で会場の変更をしたことから、密にならないよう配慮しながら実施する。バスツアーについても感染拡大状況に対応しながら事業を継続する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち							主管所属	商工観光課			
R2	政策	3 商工業が活気あるまちづくり							担当課	商工観光課			
	施策	2 がんばる商業者を応援します											
	SDGsゴール	8											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	94,419	317,095	358,669	施策費増減額	0	94,419	222,676	41,574			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	336%	113%			
	施策事業費(決算)	0	0	288,436		一般財源増減額	0	84,419	222,676	△ 56,815			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	364%	81%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 がんばる商業者を応援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	魅力ある個店登録数(累計)	店	14	35	10	10	10	23	43.5%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		魅力ある個店数は前年度と変化がなかった。県事業であるため、個店側に直接的なメリットが感じられないなど、事業の周知が十分でなことが原因と考えられる。加えてコロナ禍の影響による景気の低迷によりさらに減少させないためにも県と協力して本制度のPRを強化していく。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	ふるさと納税事業	商工観光課					A					
	2	商業活動支援事業	商工観光課					A					
	3	創業支援・事業承継支援事業	商工観光課					A					
	4	企業立地推進事業	重 商工観光課					A					
	5	経営安定資金利子補給等支援事業	商工観光課					A					
	6	工業活動支援事業	重 商工観光課					A					
	7	経済変動対策貸付金利子補給事業	新 商工観光課					A					
8	新型コロナ対策小規模企業者緊急応援事業	新 商工観光課					A						
9	新型コロナウイルス感染症対策支援事業	新 商工観光課					A						
10	プレミアム付商品券発行事業	新 商工観光課					A						
評価分析と課題		商工会活動を支援するため、補助金を支出し活動を支援した。ふるさと納税の実績は3,015件93,311千円と前年を下回った。これは前年まで人気の返礼品の取扱中止の影響と考えられる。新規返礼品の増や新規ポータルサイトの開設など新規寄附者の獲得を通じ、地域の産業振興にも寄与した。また、新型コロナウイルス感染症経済対策実施事業を行った。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ③施策内容			
	改善・加える変化	引き続き商工会活動を支援するため補助金を支出する。ふるさと納税については、新規返礼品の登録の増加や広告事業等を実施し、地域産業の振興を図りながら推進する。創業支援に併せ、事業承継についても取り組みを進める。新型コロナ経済対策については、感染の拡大状況や国・県の対応に合わせ取り組む。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	商工観光課		
R2	政策	3 商工業が活気あるまちづくり								担当課	商工観光課		
	施策	3 市内企業の応援と進出企業の獲得に努めます											
	SDGsゴール	9											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	66	3,572	3,563	施策費増減額	0	66	3,506	△ 9			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	5412%	100%			
	施策事業費(決算)	0	0	3,572		一般財源増減額	0	66	3,506	△ 9			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	5412%	100%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 市内企業の応援と進出企業の獲得に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	進出企業数(工業)(累計)	件	3	27	8	10	11	14	78.6%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		進出企業について、民間遊休地の情報発信や関係事業者との連携によりR2年度は1社の誘致ができた。新たな企業の誘致や既存企業の規模拡大等の要望に対応できる用地の確保が必要である。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	産業振興推進事業	商工観光課					A					
	2	地域産業広域連携事業	商工観光課					A					
評価分析と課題		新たな工業用地を確保するため、引き続き関係機関協議を継続し、早期に事業化の方針を決定できるように進める必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ③施策内容			
	改善・加える変化	工業導入用地造成に係る関係機関協議を継続するとともに、県東京事務所等からの情報収集などにより企業誘致活動を実施する。 また、進出要望等に対応するため、新たな遊休地の確保についても調査検討を行う。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち							主管所属	商工観光課			
R2	政策	4 人が訪れるまちづくり							担当課	商工観光課			
	施策	1 市民力による魅力発信を支援します											
	SDGsゴール	8											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	25,243	44,209	45,629	施策費増減額	0	25,243	18,966	1,420			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	175%	103%			
	施策事業費(決算)	0	0	42,878		一般財源増減額	0	23,146	2,973	10,534			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	113%	140%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 市民力による魅力発信を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	観光協会と連携した民間主導によるイベント開催数	件	5	10	6	7	3	7	42.9%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		田んぼアート、菊川おんぼくの開催など地域資源を活用したイベントが開催された。コロナ禍のなか、地域づくり助成金を活用し菊川市観光協会への業務委託により民間事業者との連携によるまた来る券の開催支援を行ったが、首都圏での物産展は開催できなかった。コロナ禍により駅南商店街組合主催による朝市は中止となった。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	火剣山キャンプ場運営事業	商工観光課					A					
	2	横地城跡管理事業	商工観光課					A					
	3	七曲池管理事業	商工観光課					A					
	4	石山公園管理事業	商工観光課					C					
	5	滝ノ谷池管理事業	商工観光課					A					
	6	丹野池自然公園管理事業	商工観光課					A					
	7	市観光協会連携事業	商工観光課					A					
	8	観光情報発信事業	商工観光課					A					
	9	蓮池公園管理事業	商工観光課					A					
	10	小菊荘管理事業	商工観光課					A					
11	交流促進事業	商工観光課					A						
12	遊歩道管理事業	商工観光課					A						
13	観光案内表示物管理事業	商工観光課					A						
評価分析と課題		コロナ禍によりイベント等の多くは中止となった。このため生活応援シェアショップ等を実施し魅力発信を継続した。また、新たな観光パンフレットを作製するとともに動画や写真によるSNSでの発信を開始し、市民を巻き込んだ情報発信となるよう取り組んだ。感染拡大状況に合わせた魅力発信を支援する。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	Instagramについては、市内のグルメ等を募集し投稿を継続することで本市の認知度を上げる。刷新したパンフレットの新規配架を増やし、周知を強化するなど魅力発信の支援を継続する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち							主管所属	商工観光課			
R2	政策	4 人が訪れるまちづくり							担当課	商工観光課			
	施策	2 マスコットを活用した情報発信を行います											
	SDGsゴール	8											
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	838	320	552	施策費増減額	0	838	△ 518	232			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	38%	173%			
	施策事業費(決算)	0	0	300		一般財源増減額	0	838	△ 518	32			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	38%	110%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 マスコットを活用した情報発信を行います		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	マスコット情報発信アクセス数	件	12,000	18,000	13,168	14,610	12,185	14,667	83.1%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		コロナ禍の影響によりマスコットキャラクターの出役がなく、きくのんのお出かけ情報の発信ができなかったため、情報発信アクセス数が減少した。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	マスコットキャラクター運営事業	商工観光課						A				
評価分析と課題		コロナ禍の影響により予定していた県外イベント等は全て中止となった。非接触による情報発信を行う必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	これまで月1回のきくのんLINEによる情報発信を拡充するため、LINEの発信回数を増やすなど、非接触による情報発信を増加させる。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち							主管所属	商工観光課			
R2	政策	4 人が訪れるまちづくり							担当課	商工観光課			
	施策	3 広域市町と連携した交流人口の増加を図ります											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	9,084	1,732	1,591	施策費増減額	0	9,084	△ 7,352	△ 141			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	19%	92%			
	施策事業費(決算)	0	0	1,730		一般財源増減額	0	6,084	△ 4,352	△ 141			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	28%	92%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 広域市町と連携した交流人口の増加を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	観光交流客数	人	364,388	400,000	366,907	343,097	326,838	380,216	86.0%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		コロナ禍の影響により集客力のあるイベントが開催されなかったため、減少している。感染状況や国・県の動向を見ながら、実施する事業を検討する必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	県立自然公園管理事業	商工観光課					A					
	2	西部広域観光連携事業	商工観光課					A					
	3	県観光協会連携事業	商工観光課					A					
	4	富士山静岡空港活用促進事業	商工観光課					A					
	評価分析と課題		静岡デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーンなど広域的観光イベントが全て中止された。広域観光連携団体である静岡県遠州観光協議会及び静岡県観光協会と連携して実施する主に大都市圏などの県外での観光PRも実施できなかった。										
	総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ③施策内容		
改善・加える変化		広域市町と連携した交流人口の増加施策を実施できる状況になれば、コロナ前の状況を踏まえて施策を実施する。非接触によるPR方法などについて、各協議会の場で協議する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち							主管所属	商工観光課			
R2	政策	5 消費者が安心して暮らせるまちづくり							担当課	商工観光課			
	施策	1 消費者被害の軽減に努めます											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	2,741	300	767	施策費増減額	0	2,741	△ 2,441	467			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	11%	256%			
	施策事業費(決算)	0	0	300		一般財源増減額	0	1,212	△ 1,196	629			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	1%	4031%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 消費者被害の軽減に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価	
	成果1	警察署届出の特殊詐欺被害件数	件	2	0	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		特殊詐欺被害を防ぐため、警察・金融機関・消費生活センターが連携した啓発活動の取り組みを継続して行っている。今年度の発生件数は9件であり、前年度より増加した。引き続き被害件数を減らすため、啓発活動を行う。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	消費者被害防止推進事業	商工観光課						A				
評価分析と課題		被害対象として多く見られる高齢者などの社会的弱者を守るため、見守りネット研修会を開催し、被害を未然に防ぐ取り組みを行っている。高齢者の消費者被害を防ぐため、PR活動を実施していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	見守りネット研修会へのケアマネジャーの出席率を上げるよう、講師の選定や研修日程を調整する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち								主管所属	商工観光課			
R2	政策	5 消費者が安心して暮らせるまちづくり								担当課	商工観光課			
	施策	2 消費生活センターの機能を強化し、消費者の保護に努めます												
		SDGsゴール												
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)		0	0	2,413	2,604	施策費増減額		0	0	2,413	191		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	108%		
	施策事業費(決算)		0	0	2,400		一般財源増減額		0	0	1,181	170		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	114%		
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	2 消費生活センターの機能を強化し、消費者の保護に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	消費生活センター相談件数	件	197	100	252	228	235	154	65.5%	現未	E		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		前年度と比較しほぼ横ばいとなった。引き続き消費生活センターのPRを行い、身近な相談窓口として周知する。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性			
							1	2			1	人件費	コスト	成果
	1	消費生活センター機能強化事業				商工観光課					A			
評価分析と課題		巧妙化する悪質商法やネット関連の消費者被害など相談内容は多岐にわたり年間235件であった。啓発活動がしにくい社会情勢であるが、新型コロナウイルス感染症に乗じた詐欺手口も発生していることから、啓発と体制の充実が必要である。消費生活相談員や担当職員が研修等に参加し、相談者に適切な助言を行える体制を構築していく。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ③施策内容				
	改善・加える変化	国、県が実施する研修会に出席し、情報収集に努める。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	都市計画課		
R2	政策	1 防災力を高めるまちづくり								担当課	都市計画課、建設課、危機管理課、健康づくり課		
	施策	1 災害に強いまちをつくります											
	SDGsゴール	11	13	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	148,864	287,245	232,454	施策費増減額	0	148,864	138,381	△ 54,791			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	193%	81%			
	施策事業費(決算)	0	0	269,719		一般財源増減額	0	91,742	48,641	△ 40,038			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	153%	71%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 災害に強いまちをつくります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	住宅の耐震化率	%	84.2	95	H30年度 87.3	R1年度 87.9	R2年度 93.7	R2年度 89	R2年度 105.3%	B	B	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		令和2年度は無料耐震診断23件、耐震化計画補助7件、耐震補強工事補助7件を実施した。住宅の建替え、取壊し、新築、耐震化等により耐震化率は向上している。予想される東海・東南海等大地震から市民の生命財産を守るため、住宅の耐震化を促進する必要がある。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	県営急傾斜地崩壊対策事業	建設課						A				
	2	河川総務事業	建設課						A				
	3	市単独河川改修補助事業	建設課						A				
	4	樋門樋管管理事業	建設課						A				
	5	河川維持管理総務事業	建設課						A				
	6	桜つつみ管理事業	建設課						A				
	7	市単独河川維持整備事業	建設課						A				
	8	社会資本整備総合交付金事業防災・安全	建設課						A				
	9	市単独河川改修整備事業	建設課						A				
	10	県管理河川改修事業	建設課						A				
	11	市単独災害復旧事業(建設課)	建設課						A				
	12	建築物等耐震改修促進事業	重 都市計画課						A				
	13	下水道維持管理事業	都市計画課						A				
	14	水防施設整備事業	危機管理課						A				
	15	国民保護計画事業	危機管理課						A				
	16	水防総務事業	危機管理課						B				
	17	地域防災計画策定事業	危機管理課						A				
	18	防災対策総務事業	危機管理課						A				
	19	公用車管理事業(水防車)	危機管理課						A				
	20	大規模地震対策等総合支援事業	危機管理課						D				
	21	防災施設等整備事業	危機管理課						A				
	22	水防施設等管理事業	危機管理課						A				
	23	防災施設等管理事業	危機管理課						A				
24	公用車管理事業(危機管理課・防災対策)	危機管理課						A					
25	医療救護事業	健康づくり課						A					
評価分析と課題		旧耐震基準の建物所有者が高齢化し、耐震補強工事費の負担が困難な世帯が発生している。命を守る最低限の対策として防災ベッド等の活用を踏まえた周知が必要である。											

総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方	
	改善・加える変化	補強計画と耐震補強助成を一体化し、耐震補強が確実に実施されるよう制度を改める。						
担当課別評価	建設課	土砂災害を防止するため、引き続き急傾斜地崩壊対策事業を推進していく。国・県管理河川に対し、河川改修や適切な維持管理を要望していくとともに、市管理河川の浸水対策として国・県・市の課題を整理するなど連携を強化した。						
	危機管理課	「公助」としては、市の水防活動拠点とするための河川防災ステーションを整備するとともに、防災倉庫を4棟設置した。また、避難所運営に必要な食料や資機材等の計画的な備蓄を進めている。 「共助」としては、市内自主防災会の防災資機材の購入補助を実施した。 「自助」としては、家具転倒防止事業や耐震ブレーカー設置補助を実施した。 今後もさらに「公助」「共助」「自助」の強化に努めて行く。						
	健康づくり課	これまでも災害時に適切な医療救護活動を行うことができるよう救護所用資材の整備を実施してきたが、引き続き、資材の有効期限に併せた更新作業を行っていく。なお、救護所の在り方(設置個所数等)については、検討をしていく必要がある。 その他、感染症予防対策衛生資材のローリングストックやプラザけやきロビーに設置しているAED借り上げについても継続していく。						

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち							主管所属	危機管理課			
R2	政策	1 防災力を高めるまちづくり							担当課	危機管理課			
	施策	2 自主防災組織の体制及び連携強化を図ります											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	1,702	2,341	2,388	施策費増減額	0	1,702	639	47			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	138%	102%			
	施策事業費(決算)	0	0	1,677		一般財源増減額	0	1,184	876	191			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	174%	109%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 自主防災組織の体制及び連携強化を図ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	地区防災連絡会の会議開催回数	回	11	33	64	58	22	21	104.8%	B	D	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各地区が主体となって開催する地区防災連絡会等の会議が減少した。今後も地区との連携強化を図るため、会議への危機管理課職員の出席を継続する。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	水防団活動事業	危機管理課					A					
	2	自主防災組織事業	危機管理課					A					
評価分析と課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、水防団の新入団員のみを対象とした水防訓練を実施した。防災指導員を対象とした研修会を5回開催し、防災知識の向上を図った。防災知識を習得していただくため、訓練や研修会の内容を検討していく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	地区防災連絡会に参加し、地域の防災活動を把握するとともに、訓練や研修会の内容を検討していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	予防課(消防)		
R2	政策	1 防災力を高めるまちづくり								担当課	予防課(消防)、危機管理課		
	施策	3 市民の防災意識の高揚を図ります											
	SDGsゴール	11											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	2,250	2,872	3,261	施策費増減額	0	2,250	622	389			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	128%	114%			
	施策事業費(決算)	0	0	1,866		一般財源増減額	0	1,437	958	246			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	167%	110%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 市民の防災意識の高揚を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	住宅用火災警報器の設置率	%	63	80	66.7	67.4	66	70.6	93.5%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		住宅用火災警報器の設置率については、平成27年度と比較すると増加しているが、前年度より下回っている。この設置率は、国が示す無作為抽出による調査であるため設置率が前年度より減少する場合もある。今後は、設置の推進に向けた確かつ効果的な広報が必要である。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
						成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性			
						1	2			1	人件費	コスト	成果
	1	女性の防災啓発事業			危機管理課					A			
	2	防災啓発事業			危機管理課					A			
	3	予防事業(消防本部)			予防課					B			
評価分析と課題		市民の防火意識の高揚や事業所の防火・保安管理体制の強化及び幼少年期からの防火思想の普及にも取り組んだ。今後も、事業所への立入検査や防火に関する講習会、幼少年を対象とした防火ポスターコンクールを継続して実施するとともに、幅広く広報活動を行っていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
							維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化	住宅用火災警報器の設置・維持管理について、より正確な設置状況等を捉える必要があることから、全戸アンケートを実施する。また、過去の火災発生状況を分析し、より効果的な火災予防活動を行っていく。											
担当課別評価	危機管理課	新型コロナウイルス感染症の影響により、防災フェアと自主防災会活動説明会は中止とし、自主防災会には説明会資料を発送した。 令和元年度の台風19号を教訓に、水害に関する啓発パンフレットを各戸へ配布した。 茶こちゃんメールの登録者推進パンフレットを各戸へ配布した。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	危機管理課		
R2	政策	1 防災力を高めるまちづくり								担当課	危機管理課、消防署		
	施策	4 市民の防災活動への参加を推進します											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)						予算額比較(千円)						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	0	501	9,466	施策費増減額		0	0	501	8,965	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1889%	
	施策事業費(決算)		0	0	496		一般財源増減額		0	0	△ 4,875	9,816	
施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-101%		
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	4 市民の防災活動への参加を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	地域防災訓練(12月)の参加者数	人	14,318	15,750	14,488	16,567	537	14,954	3.6%	現未	E	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主防災会独自の訓練や避難所運営委員会など、住民参加の訓練を中止としたため参加者数が減少したが、感染症対策を徹底したうえで訓練を実施する必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
							成果 効率		事業内容評価	判定評価	R4の方向性		
							1 2	1 人件費			コスト	成果	改善
	1	防災訓練事業				危機管理課				A			
	2	救急講習等事業				消防署				A			
評価分析と課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、住民参加の訓練は実施できなかったが、感染症対策を講じたうえでの訓練を実施していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価		A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
	改善・加える変化		実災害に備え、感染症対策を踏まえた訓練を実施していく必要がある。										
	担当課別評価	消防署	救急講習等事業については、講習用資機材等の更新を計画通り実施し、講習会の開催とともに、応急手当の普及活動に積極的に取り組む事業所の推進を図った。今後も、一人でも多くの市民に応急手当法を習得してもらえよう、普通救命講習の受講者増加を目指していく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	危機管理課			
R2	政策	1 防災力を高めるまちづくり								担当課	危機管理課			
	施策	5 避難情報の適切な伝達と避難体制の強化を図ります												
		SDGsゴール												
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)									
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	0	8,347	3,347	施策費増減額	0	0	8,347	△ 5,000				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	40%				
	施策事業費(決算)	0	0	8,312		一般財源増減額	0	0	5,341	△ 1,994				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	63%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	5 避難情報の適切な伝達と避難体制の強化を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	茶こちゃんメール登録者数(累計)	人	1,395	3,000	4,049	4,905	6,392	2,108	303.2%	S	S		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		茶こちゃんメール登録の啓発パンフレットを各戸配布し、登録への呼びかけをした結果、登録者数が増加した。今後も継続して登録者が増加するよう啓発していく。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
								成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性		
								1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	情報伝達・避難体制対策事業				危機管理課					A			
評価分析と課題		出前行政講座などで市民にハザードマップを周知していくとともに、マイタイムラインの周知及び作成支援に努める。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性	コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方					
	改善・加える変化	茶こちゃんメールは災害時での情報伝達手法として、多くの市民に登録していただく必要があるため、継続して啓発活動を行う。また、災害への事前の備えとして出前行政講座などでの新たなハザードマップの周知が必要である。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	地域支援課		
R2	政策	2 交通事故・犯罪のないまちづくり								担当課	地域支援課		
	施策	1 交通事故を減らすため交通安全活動を推進します											
	SDGsゴール	3	16										
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	13,271	11,850	13,763	施策費増減額	0	13,271	△ 1,421	1,913			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	89%	116%			
	施策事業費(決算)	0	0	10,982		一般財源増減額	0	13,271	△ 1,421	1,913			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	89%	116%			
	コスト分析と課題	本事業予算は、交通安全対策会議の開催、交通指導隊の活動推進、弁護士無料法律相談の開催、菊川市交通安全会及び菊川警察署管内交通安全指導員の運営支援等が主な予算である。令和2年度はコロナ対策として交通指導隊の研修事業の中止等により、減額する形となった。令和3年度もコロナ禍を見据えた適正な予算執行が必要となる。											
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 交通事故を減らすため交通安全活動を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	交通教室の延べ参加人数	人	11,019	12,300	15,043	15,847	3,957	11,588	34.1%	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題	交通安全意識の啓蒙・普及を図るため、静岡県交通安全協会菊川地区支部と連携し、小・中学校等において交通教室等を56回開催し、延べ3,957人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数及び参加人数が大幅に減少する形になった。今後もコロナ禍での活動に配慮して実施していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	交通安全推進事業	地域支援課					A					
	2	交通安全対策総務事業	地域支援課					A					
	3	公用車管理事業(地域支援課・交通防犯)	地域支援課					A					
	評価分析と課題	交通安全対策会議の開催、交通指導隊の活動推進、弁護士無料法律相談の開催、菊川市交通安全会及び菊川警察署管内交通安全指導員の運営支援等は、交通安全活動に必要な事業である。今後も引き続き、本事業の実施により、交通安全思想の普及及び交通事故の防止に努めていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
							維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化	今年度、国の第11次交通安全基本計画、県の第11次静岡県交通安全計画、菊川市の状況等を踏まえ、第11次菊川市交通安全計画を策定する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	建設課			
R2	政策	2 交通事故・犯罪のないまちづくり								担当課	建設課			
	施策	2 交通安全施設の整備を進めます												
	SDGsゴール	3	16											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	44,504	46,500	46,917	施策費増減額	0	44,504	1,996	417				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	104%	101%				
	施策事業費(決算)	0	0	46,482		一般財源増減額	0	33,913	△ 7,574	15,585				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	78%	159%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	2 交通安全施設の整備を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	歩道の整備延長(平成29年度～令和7年度)(累計)	m	0	2,380	730	1,030	1,155	1,058	109.2%	B	D		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		歩道整備延長を全体目標2,380mのうち1,155m完了した。歩道整備は、交通事故の防止や、歩行者の安全で快適な移動を確保できることから、計画的な工事実施が必要である。歩道整備には用地買収が必要となる。用地買収に当たり、地元協力が不可欠である。事業を継続的に実施するため、国庫交付金を含む特定財源の確保に努める。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価				
							成果	効率		R4の方向性		R4年度 拡充化○ 縮減化△		
							1	2	1	人件費	判定評価		コスト	成果
	1	市単独道路維持整備事業			建設課					A				
	2	市単独交通安全施設整備事業			建設課					A				
評価分析と課題		市内の区画線などをはじめとする安全施設は膨大である。安全施設に経年劣化が生じると市民生活の安全に支障が生じるため、引続き着実な事業進捗を図る必要がある。通学路の合同点検を通じ、必要な対策を実施した。併せて、関係機関と危険個所の認識を共有することで、効果的に交通安全事業を推進する。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	関係機関と連携し、交通安全等のソフト対策を一体とし交通安全への取り組みを進める。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	地域支援課		
R2	政策	2 交通事故・犯罪のないまちづくり								担当課	地域支援課		
	施策	3 犯罪のない明るい地域社会づくりを推進します											
	SDGsゴール	3	16										
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	8,562	9,360	9,190	施策費増減額	0	8,562	798	△ 170			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	109%	98%			
	施策事業費(決算)	0	0	8,842		一般財源増減額	0	8,562	798	△ 170			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	109%	98%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 犯罪のない明るい地域社会づくりを推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	不審者事案件数	件	13	9	13	13	14	11	78.6%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		令和2年度の「不審者事案件数」は、14件となっている。市では、青色回転灯装着車によるパトロールを128回実施した。また、ちやこちゃんメール、同報無線等を活用しての振込詐欺や不審者情報など注意喚起も随時実施した。今後もさらに警察署、防犯協会と連携を図り、市民の意識啓発を推進していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	防犯対策設備管理事業	地域支援課					A					
	2	防犯対策設備整備事業	地域支援課					A					
	3	防犯対策総務事業	地域支援課					B					
評価分析と課題		防犯灯の新規設置、市有防犯灯等の管理、駅前不法駐輪自転車の巡視等は、犯罪のない地域づくりを推進していくために必要な事業である。今後も引き続き、菊川警察署、交通指導員、犯罪被害者支援センターなどの機関との連携、情報共有により、犯罪の抑止・防止に努めていく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	菊川警察署協議会からの要望による街灯防犯カメラ等の設置拡充について、設置場所等、菊川警察署と協議していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	警防課(消防)			
R2	政策	3 消防力を高めるまちづくり								担当課	警防課(消防)、消防署、消防総務課			
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります												
		SDGsゴール	11	13	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)		0	77,505	64,365	155,475	施策費増減額		0	77,505	△ 13,140	91,110		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	83%	242%		
	施策事業費(決算)		0	0	63,553		一般財源増減額		0	58,194	△ 34,418	11,431		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	41%	148%		
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	耐震性貯水槽の設置数(累計)	基	289	319	299	300	302	302	100.0%	B	B		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		2基の耐震性貯水槽を整備し、消防水利の充実を図ることができた。今後も消防力の基盤強化として、計画的に整備を進めていかなければならない。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
							成果	効率		判定評価	R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	常備消防施設管理事業			消防総務課					A				
	2	消防自動車等整備事業			重 警防課					A				
	3	市単独消防施設整備事業			警防課					A				
	4	貯水槽整備事業			警防課					A				
	5	消防救助活動事業			消防署					A				
	6	救急活動事業			消防署					A				
評価分析と課題		消防庁舎運用開始から7年が経過しているため、長寿命化に向け検討するとともに、消防車両や水利施設及び災害現場で活用する資機材の更新整備を適切に行い、消防力の維持・強化を図っていく必要がある。												
総合評価	総合判定評価		A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
									維持→	維持→	①施策の進め方			
	改善・加える変化		消防庁舎の長期的な修繕計画と耐震性貯水槽の設置計画の作成、及び必要により消防車両の更新計画を見直す。											
	担当課別評価	消防署	災害現場で使用する資機材の整備や機械器具の保守点検を実施し、消防力の充実・強化を図った。また、各種災害に対応する訓練、事後検証を行い、災害対応能力の向上を図った。											
消防総務課		消防庁舎の適切な維持管理により、消防力の強化を図った。また、消防学校や研修所等へ職員を派遣し、知識・技術の習得による職員の育成に取り組んだ。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち							主管所属	消防総務課			
R2	政策	3 消防力を高めるまちづくり							担当課	消防総務課			
	施策	2 消防技術の向上を目指します											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	13,828	12,985	14,472	施策費増減額	0	13,828	△ 843	1,487			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	94%	111%			
	施策事業費(決算)	0	0	12,476		一般財源増減額	0	13,482	△ 498	1,487			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	111%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 消防技術の向上を目指します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	救急救命士数(累計)	人	17	27	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		救急救命士資格者22名の内、主に現場で活動している救命士は19名である。救急現場での活動強化のために、今後も計画的に救命士の養成を行っていく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率		判定評価	R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	常備消防総務事業			消防総務課					A			
評価分析と課題		職員の知識、技術の習得や能力向上及び将来の幹部職員育成のため、今後も教育や派遣が必要である。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	専門的知識等を養うために派遣する消防学校での専科教育については、的確な教育課程及び職員を選定する。また、消防本部内での研修も取り入れて、全職員のレベルアップを図る。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	消防総務課		
R2	政策	3 消防力を高めるまちづくり								担当課	消防総務課		
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります											
	SDGsゴール	11											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	70,042	67,218	65,152	施策費増減額	0	70,042	△ 2,824	△ 2,066			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	97%			
	施策事業費(決算)	0	0	64,523		一般財源増減額	0	58,874	△ 2,692	△ 1,349			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	95%	98%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	消防団員の定数に対する充足率	%	87.6	95	90.1	86.8	84.1	90.9	92.5%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		消防団員数は減少傾向にあり厳しい状況が続いているが、地域防災力の強化には、その中核となる消防団員を確保することが重要であることから、地域や企業等に理解や協力を求めるとともに、消防団の活動環境を整備していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	消防団運営事業	消防総務課					A					
	2	消防団資機材整備事業	消防総務課					A					
	3	消防団員報酬事業	消防総務課					A					
	4	非常備消防総務事業	消防総務課					A					
	5	消防施設等管理事業	消防総務課					A					
	6	消防自動車等管理事業	消防総務課					A					
評価分析と課題		手当等の支払いによる身分保障や個人装備品の貸与による団員の安全確保とともに、災害活動で使用する資機材の整備、車両や蔵置所の維持管理等は適切に実施している。また、消防団員数が年々減少傾向にあるため、団員確保対策について継続して検討していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	消防団活性化検討委員会での検討や自治会への理解や協力の求めを継続していく中で、新たに企業や女性の集まる場所に向向いて、同様に理解や協力を求めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										主管所属	環境推進課	
R2	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり										担当課	環境推進課、農林課	
	施策	1 地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します												
	SDGsゴール	6	7	11	12	13	14	15						
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	12,257	18,603	18,737	施策費増減額	0	12,257	6,346	134				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	100%	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	152%	101%				
	施策事業費(決算)	0	0	17,661		一般財源増減額	0	10,846	6,496	39				
施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	99980%		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	160%	100%					
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	1 地球温暖化対策・自然環境の保全を推進します	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価			
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度					
	成果1	太陽光発電システムの設置件数(累計)	件	1,974	3,800	2,789	2,935	3,077	2,786	110.4%	B	C		
	成果2	効率												
指標分析と課題		令和2年9月末現在の太陽光発電システムの設置件数は3,077件であり、十分達成をしている。目標値を増やす必要があると考えているか、本目標値は、第2次菊川市環境基本計画の目標数値のため、計画の見直し時に変更をしたいと考えている。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善							
	1	エコアクション21推進事業	環境推進課					A						
	2	地球温暖化対策事業	環境推進課					A						
	3	緑化推進活動事業	農林課					A						
	4	有害鳥獣対策総務事業	農林課					A						
5	林業振興総務事業	農林課					A							
6	松くい虫防除事業	農林課					A							
7	森林整備事業	農林課					A							
評価分析と課題		市として「ゼロカーボンシティ宣言」の検討を進めるなかで、市民及び市内事業者に対しても積極的に再生可能エネルギーの導入などの脱炭素への取り組みを促す必要があるため、目標の上方修正の検討を進めたいが、補助金の増額や補助対象の拡充などは困難である。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	地球温暖化対策のみでなく、停電などの災害対策としての太陽光発電設備の必要性、治水や停電予防のための森林整備の必要性など、一つひとつの事業に対して様々な側面からの情報発信と意識啓発を進めて行く。												
	担当課別評価	農林課	荒廃した森林を整備するため、県森の力再生事業による森林整備を推進してきた。今後も継続して森林の整備を推進していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										主管所属	下水道課	
R2	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり										担当課	下水道課、環境推進課	
	施策	2 水質浄化・生活環境の改善を進めます												
	SDGsゴール	6	11	12	14									
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	79,193	53,877	56,318	施策費増減額	0	79,193	△ 25,316	2,441				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	68%	105%				
	施策事業費(決算)	0	0	52,277		一般財源増減額	0	59,365	△ 17,175	△ 2,077				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	71%	95%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	2 水質浄化・生活環境の改善を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	水洗化・生活排水処理率	%	59.3	83.4	66.9	68.3	70.4	69.1	101.9%	B	C		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		目標値を達成することができたが、水洗化・生活排水処理率の向上には、下水道の管渠整備と早期接続、単独処理浄化槽及びびくみ取り便所から合併処理浄化槽への切り替えの推進が必要である。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善		
	1	公害対策推進事業	環境推進課						A					
	2	環境衛生総務事業	環境推進課						A					
	3	浄化槽設置事業	重 下水道課						A					
	4	環境衛生総務事業(下水道課)	下水道課						A					
評価分析と課題		単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への付け替えは22.6%と前年度より4ポイント増加している。今後とも補助制度の活用を周知し更なる水質向上に努めていくとともに、浄化槽の保守・点検・清掃等の維持管理についても意識向上を図っていく。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性			コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	下水道未整備地区の計画的な整備を推進し、受益者負担金の減免制度や接続工事費補助制度による早期接続を図る。浄化槽補助制度を周知し活用していただき、単独処理浄化槽及びびくみ取り便所の合併処理浄化槽への付け替えを推進し、水洗化・生活排水処理率の向上を図る。												
	担当課別評価	環境推進課	市内河川の45地点で水質検査を実施し、水質の監視を継続している。今後においても水質検査を継続し、水質改善のための取り組みの必要性を検証しつつ、併せて水質改善の必要性についての啓発を進めて行く。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										主管所属	環境推進課			
R2	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり										担当課	環境推進課			
	施策	3 循環型社会の推進を図ります														
		SDGsゴール	7	11	12	14	15									
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	532,325	557,022	542,709	施策費増減額		0	532,325	24,697	△ 14,313				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	105%	97%				
	施策事業費(決算)		0	0	555,013		一般財源増減額		0	517,791	30,811	△ 15,072				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	106%	97%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	3 循環型社会の推進を図ります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	ごみの資源化率	%	26.5	29.4	22.4	22	21	27.8	75.5%	現未	E				
	成果2															
	効率															
指標分析と課題		リサイクルを取り巻く社会情勢の変化と指標の見直しが合致していないため、社会情勢の変化や国の動向などを踏まえた指標の見直しが必要である。 リサイクル率の低下については、市内各店舗にて店頭回収を行っていることから、市の拠点回収、集団回収量が低下していると考えられる。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△			
					成果		効率			判定評価	R4の方向性					
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善			
	1	分別収集等奨励事業	重	環境推進課						A						
	2	塵芥処理総務事業		環境推進課					A							
	3	環境美化推進事業		環境推進課					A							
	4	一部事務組合事業(塵芥処理事業・掛川市菊川市衛生施設組合)		環境推進課					A							
	5	最終処分場管理事業		環境推進課					A							
	6	最終処分場整備事業		環境推進課					A							
7	公用車管理事業(保全センター)		環境推進課					A								
8	一部事務組合事業(火葬場事業・東遠地区聖苑組合)		環境推進課					A								
評価分析と課題		大型店舗におけるプラスチック製容器包装等の回収が始まった頃より、市の収集する廃棄物の総量に対するリサイクル率は目標値を下回る傾向が続いている。 リサイクル品目の増、分母であるごみ総排出量の削減など、現在の取り組みと併せて進めて行く必要がある。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 拡充↑	改善 ③施策内容						
	改善・加える変化	コロナ禍により出前行政講座などの取り組みが困難となっている。新たな生活様式を取り入れた出前行政講座の実施と併せ、環境だより及びSNSを活用し、分別収集及び4R(リデュース、リユース、リサイクル、リフーズ)の推進を実施し、ごみ減量化とリサイクル率の向上を図る。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										主管所属	下水道課
R2	政策	4 豊かな自然や住みよい環境を未来へつなぐまちづくり										担当課	下水道課
	施策	4 適正な汚水処理施設の管理・運営を進めます											
		SDGsゴール	6	11	12	14							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	502,308	481,278	499,301	施策費増減額	0	502,308	△ 21,030	18,023			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	104%			
	施策事業費(決算)	0	0	481,005		一般財源増減額	0	493,183	△ 20,656	18,023			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	96%	104%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	4 適正な汚水処理施設の管理・運営を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	経費回収率	%	47.1	59.6	45.4	50.5	55.2	52.7	104.7%	B	B	
	成果2	効率											
指標分析と課題		令和2年度の経費回収率は、55%で期待値よりも4%の増であった。管渠整備による整備区域の拡大と下水道への接続により使用料収入は増加しているが、施設の修繕及び改築更新があることから、維持管理費の削減に努める。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率		事業内容評価	判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	平尾下水処理場管理事業	下水道課						A				
	2	一部事務組合事業(し尿処理事業・東遠広域施設組合)	下水道課						A				
	3	下水道会計事業	下水道課						A				
評価分析と課題		適正な汚水処理施設の管理運営については、処理施設の点検及び早期修繕をして処理施設延命に努める。運営については、経費回収率は目標値より4%増で計画に沿って進んでいる。今後の課題では、平尾下水処理場が25年経過しており今後の方向性を地元自治会と協議して進めていく。下水道事業は使用料の改定と維持管理費の削減に努める。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	維持管理費にかかる汚水処理費を使用料収入で確保するため、使用料改定を検討していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	都市計画課		
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	都市計画課		
	施策	1 良好な住環境をつくります											
	SDGsゴール	9	11	15									
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	81,312	181,131	179,946	施策費増減額	0	81,312	99,819	△ 1,185			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	223%	99%			
	施策事業費(決算)	0	0	106,597		一般財源増減額	0	62,482	69,179	28,672			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	211%	122%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 良好な住環境をつくります		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	住宅取得補助利用者件数	件	0	350	285	408	508	156	325.6%	S	S	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		若者世帯定住促進補助金として一般世帯87件、三世帯同居・隣接世帯13件、合計100件の補助を実施した。市外からの転入促進と市内からの転出抑制を図るためにPRに努める必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	駅北整備事業	重	都市計画課						A			
	2	空家等対策推進事業		都市計画課					A				
	3	若者世帯定住促進補助事業	重	都市計画課					A				
	4	社会資本整備総合交付金事業潮海寺地区計画		都市計画課					A				
	5	都市計画推進事業		都市計画課					A				
	6	土地利用等対策事業		都市計画課					A				
7	建築住宅推進事業		都市計画課					A					
8	住宅災害復旧事業	新	都市計画課					A					
評価分析と課題		社会情勢の変化により交付件数は変動している。また、コロナ過で住宅購入状況がどの程度変動するか先行きが不透明である。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化	個人の借入金利の引下げを図るため、住宅金融支援機構のフラット35地域連携型の適用について協議を進める。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	都市計画課		
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	都市計画課、建設課		
	施策	2 幹線道路や生活道路を整備します											
	SDGsゴール	9	11	15									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	191,912	186,604	233,660	施策費増減額	0	191,912	△ 5,308	47,056			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	97%	125%			
	施策事業費(決算)	0	0	186,337		一般財源増減額	0	77,392	△ 41,614	64,563			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	46%	280%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 幹線道路や生活道路を整備します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	都市計画道路の整備率	%	63.5	65.5	H30年度 65	R1年度 65.2	R2年度 66	R2年度 64.4	R2年度 102.5%	S	B	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		令和2年12月に都市計画道路の見直しを行い、都市計画道路の総延長が1,960m減少したことにより整備率も上昇した。路線の整備については、(都)西方高橋線、(都)青葉通り嶺田線の2路線の整備を進めている。公共事業費の減少により整備率の向上は鈍化している。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率	判定評価		R4の方向性			
						1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	掛川浜岡線バイパス整備事業 重			建設課					A			
	2	社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線 重			建設課					A			
	3	市単独市道改良整備事業			建設課					A			
	4	市単独市道整備補助事業			建設課					A			
	5	市単独市道舗装改良等整備事業			建設課					A			
	6	社会資本整備総合交付金事業市道赤土高橋線 重			建設課					A			
7	街路事業推進事業			都市計画課					A				
8	市単独街路改良整備事業			都市計画課					A				
9	県費補助青葉通り嶺田線整備事業			都市計画課					B				
評価分析と課題		(都)青葉通り嶺田線の測量設計を実施した。都市計画道路の整備は都市交通の利便性向上、経済発展等のために必要であることから計画的な整備が必要である。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	設計段階からコストを意識した設計に努める。また、発注方法も可能な限り一括発注することで諸経費等の削減に努める必要がある。令和3年度から都市計画道路整備プログラムを作成し、整備計画を定める。											
	担当課別評価	建設課	幹線道路である掛川浜岡線バイパスの市施工区間である「赤土高橋線」及び市道大須賀金谷線について、用地買収・工事を進めている。生活道路についても、環境の変化による交通量増への対応や安全性の向上を図るための整備を進めていく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	都市計画課		
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	都市計画課、農林課		
	施策	3 公園などの整備を進めます											
		SDGsゴール	3	9	11	15							
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	65,098	63,021	70,951	施策費増減額	0	65,098	△ 2,077	7,930			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	97%	113%			
	施策事業費(決算)	0	0	62,218		一般財源増減額	0	52,188	8,275	△ 336			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	116%	99%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 公園などの整備を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	市内公園の維持管理を自治会等へ委託する公園数	箇所	28	30	29	28	29	29	100.0%	B	B	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		自治会委託23公園、指定管理6公園、合計29公園の管理を委託した。地元自治会が管理することで地元住民の公園に対する意識の向上が図られる。しかし、人口減少、高齢化、更にコロナ禍で管理委託が難しいと相談されるケースが増加している。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	その他公園管理事業	都市計画課							A			
	2	公園共通管理事業	都市計画課						A				
	3	都市公園管理事業	都市計画課						A				
	4	都市公園整備事業	都市計画課						A				
	5	農村公園管理事業	農林課						A				
	評価分析と課題		地元自治会役員の考え方により継続的に委託を受けて頂けるか判断されることから、継続的に実施して頂くための工夫が必要となっている。また、施設の老朽化に伴う設備等の更新が必要である。										
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト 維持→	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	管理委託条件の緩和等により、少人数、高齢者でも管理が可能な内容に変更する等の検討をする。											
	担当課別評価	農林課	農村地域の住民の憩いの場である「農村公園」の維持管理を地元自治会に委託している。今後も地元で親しまれる「農村公園」の維持管理を継続していく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	地域支援課		
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	地域支援課		
	施策	4 交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます											
	SDGsゴール	11											
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	86,149	73,093	55,552	施策費増減額	0	86,149	△ 13,056	△ 17,541			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	85%	76%			
	施策事業費(決算)	0	0	72,026		一般財源増減額	0	70,199	△ 31,490	9,426			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	55%	124%				
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	4 交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	民間路線バスの運行本数/1路線2系統の維持	-	2	2	2	2	2	2	100.0%	S	B	
	成果2	自主運行バスの運行本数/8路線12系統の維持	-	12	12	12	12	12	12	100.0%	S	B	
効率													
指標分析と課題		公共交通会議を3回開催し、自主運行バス萩間線、しずてつジャストライン(株)運行バスの菊川浜岡線、コミュニティバスの運行ルートの変更等について協議している。今後も交通事業者と連携して、市内全域における市民のための交通手段確保に努めていく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善	
	1	コミュニティバス推進事業	重 地域支援課						C				
	2	公共交通推進事業	地域支援課						E				
	3	バス路線維持対策事業	地域支援課						A				
評価分析と課題		現在の公共交通機関は、本市の実情に即した必要な機関となっている。令和2年度から、経費を削減しつつも最低限の利便性を維持するためにデマンド運行を試験的に開始したが、利用者拡大に向けて取り組む必要がある。自主運行バス萩間線及びしずてつジャストライン(株)運行バスの欠損額支援についても、毎年の増額について精査する必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性				コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	コミュニティバスのデマンド運行について、デマンド運行の主要区域の市民を対象としたアンケート調査や現在の利用者を対象とした乗降調査を実施し、今後の利用者拡大に向けて取り組んでいく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	建設課	
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	建設課	
	施策	5 橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります										
	SDGsゴール	9	11	15								
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)						
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	457,898	499,727	278,059	施策費増減額	0	457,898	41,829	△ 221,668		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	109%	56%		
	施策事業費(決算)	0	0	487,419		一般財源増減額	0	149,172	153,855	△ 177,098		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	203%	42%		
コスト分析と課題												
指標評価	総合計画										行政評価	
	5	橋梁や道路施設を適切に維持管理し、長寿命化を図ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度		
	成果1	橋梁定期点検の実施率	%	18	100	100	100	100	54.4	183.8%	S	S
	成果2											
	効率											
指標分析と課題												
計画は市内の全橋梁数615橋の点検実施率を算出したもので、平成30年度までに全橋梁の1巡目の点検を完了し100%となっている。令和元年度から2巡目の点検に入っており5年間で点検実施率100%に向けて取り組んでいく必要がある。												
評価分析	関連事業											
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率		事業内容評価	判定評価	R4の方向性	
					1	2	1	人件費			コスト	成果
	1	社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化 重	建設課						A			
	2	土木総務事業	建設課						A			
	3	道路橋梁総務事業	建設課						A			
	4	道路維持管理事業	建設課						A			
	5	公共土木施設災害復旧事業	建設課						A			
評価分析と課題												
本施策は、道路施設の道路利用者による第三者被害の未然防止を図ることが目的であり、橋梁の長寿命化や道路施設の維持管理、災害復旧などを実施することで良好なインフラ施設の維持が図られている。橋梁の長寿命化は事業費の平準化を実施したが、除草業務など増加する維持管理費を抑えていくことができるかが課題である。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
	改善・加える変化	行政の道路維持管理事業だけでは地域住民の要望に十分に応えられていない現状があり、地域住民やボランティアなどによる道路愛護への協力も必要不可欠である。継続的に良好な道路環境を維持していくためには、地域住民などに積極的な参加をお願いしていく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	都市計画課			
R2	政策	5 良好な住環境や道路・公園を次世代に引き継ぐまちづくり								担当課	都市計画課			
	施策	6 市営住宅を適切に維持管理し、長寿命化を図ります												
	SDGsゴール	9	11	15										
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	45,370	53,120	60,121	施策費増減額	0	45,370	7,750	7,001				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	117%	113%				
	施策事業費(決算)	0	0	53,081		一般財源増減額	0	0	△ 3,388	3,388				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	6 市営住宅を適切に維持管理し、長寿命化を図ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価			
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度					
	成果1	市営住宅改修棟数(3団地・11棟の外壁・屋根等)	棟	3	11	7	8	9	7	128.6%	B	A		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		上本所団地A棟改修工事、上本所団地C棟改修工事実施設計を行った。 引続き、市営住宅等長寿命化計画に基づき国から交付される交付金を活用し、改修工事を実施して適切な維持管理を行う。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率		判定評価	R4の方向性				
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善		
	1	市営住宅管理事業	都市計画課						A					
	2	社会資本整備総合交付金事業市営住宅長寿命化	都市計画課						A					
評価分析と課題		引続き、長寿命化計画に基づく改修工事を実施し、令和3年度に上本所団地1棟、令和4年度に赤土団地1棟を実施することで完了する見込みである。国の交付金対象事業ではない設備等の老朽化が問題である。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	設備更新が必要であることから財源を含めて計画を策定する必要がある。また、和室が多いためフローリングに変更する等の検討が必要である。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	水道課			
R2	政策	6 上水道が安全に安定して供給されるまちづくり								担当課	水道課			
	施策	1 安定した水資源の確保と総合的な水質管理体制の構築を図ります												
	SDGsゴール	6												
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	0	0	0	施策費増減額	0	0	0	0				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
	施策事業費(決算)	0	0	0		一般財源増減額	0	0	0	0				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
	コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価		
	1	安定した水資源の確保と総合的な水質管理体制の構築を図ります	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	施設利用率	%	0	72.5	72.2	71.8	72.4	71.7	101.0%	B	B		
	成果2	効率												
	指標分析と課題	施設利用率は、配水能力に対する配水量の割合を示すものであり、令和2年度は前年度に比べ利用率は上昇した。引続き、企業団からの受水量の調整、浄水場での施設能力が減少しないように維持管理していく。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善		
	1	大井川広域水道企業団事業	水道課											
	2	自己水源の維持管理事業	水道課											
	3	水質検査計画に基づく水質検査	水道課											
		評価分析と課題	一日配水能力(施設能力)に対する一日平均配水量の割合であり、ほぼ目標値と同数となっており、適切な利用状況であると考えられる。今後、水需要の減少となった場合においては、施設規模の検討が必要となる。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	水需要に応じ、適正な維持管理をしていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち							主管所属	水道課			
R2	政策	6 上水道が安全に安定して供給されるまちづくり							担当課	水道課			
	施策	2 管路の整備及び改良を進めます											
	SDGsゴール	6											
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	0	0	0	施策費増減額		0	0	0	0		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	施策事業費(決算)	0	0	0		一般財源増減額		0	0	0	0		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	コスト分析と課題												
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 管路の整備及び改良を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	管路耐震化率	%	0	55	H30年度 50.7	R1年度 51.6	R2年度 52.9	R2年度 51.6	R2年度 102.5%	B	B	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題 管路更新計画に基づき計画的に、老朽管の更新を実施しており、令和2年度の実績は現在確定ではないが、目標値を上回る実績値(52.9%)となる見込みである。今後も引き続き管路更新計画に基づき老朽管の更新が必要である。												
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率	判定評価		R4の方向性			
						1	2	1	人件費	コスト	成果	改善	
	1	配水管整備事業			水道課								
	2	老朽管整備事業			水道課								
	3	水道一般改良事業			水道課								
	評価分析と課題 目標値を達成できたが、今後も補助金を活用しながら老朽管の改良を進めていく必要がある。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	引続き管路更新計画に基づき、限られた財源の中で補助金を活用し、老朽管の更新を進めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	水道課			
R2	政策	6 上水道が安全に安定して供給されるまちづくり								担当課	水道課			
	施策	3 水道施設の管理及び整備を進めます												
		SDGsゴール	6											
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)		0	0	0	0	施策費増減額		0	0	0	0		
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	施策事業費(決算)		0	0	0		一般財源増減額		0	0	0	0		
施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	3 水道施設の管理及び整備を進めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	有形固定資産減価償却率	%	0	60以下	49.9	50.5	51.6	60以下	116.3%	S	A		
	成果2	効率												
指標分析と課題		資産の老朽度を示す指標であり、100%に近いほど老朽度が高くなるもので、現在数値が上昇してきているが、投資の平準化を図るため、耐震化計画に基づき計画的に改修及び改良を行っている。今後更に施設の老朽化が進むため、長寿命化を図ると共に計画的な更新が必要となってくる。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果		効率			判定評価	R4の方向性			
					1	2	1	人件費	コスト		成果	改善		
	1	八王子配水場改良事業	水道課											
2	公文名浄水場改良事業	水道課												
3	加圧ポンプ場整備事業	水道課												
評価分析と課題		限られた財源を有効に活用し、引続き施設の長寿命化を図る必要がある。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方				
	改善・加える変化	引続き、施設の長寿命化を図っていく。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち								主管所属	水道課			
R2	政策	6 上水道が安全に安定して供給されるまちづくり								担当課	水道課、環境推進課			
	施策	4 安定財源の確保を図り、健全な事業経営を継続します												
	SDGsゴール	6												
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	9,342	9,145	8,921	施策費増減額	0	9,342	△ 197	△ 224				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	98%	98%				
	施策事業費(決算)	0	0	9,145		一般財源増減額	0	9,342	△ 197	△ 224				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	98%	98%				
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画										行政評価			
	4 安定財源の確保を図り、健全な事業経営を継続します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	料金回収率	%	102.3	100以上	111.1	107.4	109	100以上	109.0%	S	B		
	成果2													
	効率													
指標分析と課題		計画より高い回収率となっており、経営の健全化が図られているが、今後給水収益の落ち込みや、維持管理に係る経費が増大していく事が考えられる。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業				担当課	事業コスト評価	指標評価		総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
								成果	効率	事業内容評価	判定評価	R4の方向性		
								1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	水道普及支援事業				環境推進課					A			
評価分析と課題		予想より給水収益の減少が少なかったため回収率が高くなっているが、今後給水収益が減少していくことが考えられるため、経費削減は当然の事、料金改定の必要性が出てくる。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善				
								維持→	維持→	①施策の進め方				
	改善・加える変化	経営戦略に基づき、経費削減に取り組むとともに、給水収益の状況を把握し、料金改定を検討していく。												
担当課別評価	環境推進課	負担金を支払うことで、目的を達成するための一助となっている。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	地域支援課		
R2	政策	1 市民と行政との協働によるまちづくり								担当課	地域支援課		
	施策	1 地域のために活動している市民や団体を支援します											
		SDGsゴール	16	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	107,426	124,777	116,517	施策費増減額	0	107,426	17,351	△ 8,260			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	116%	93%			
	施策事業費(決算)	0	0	114,331		一般財源増減額	0	76,203	13,237	5,868			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	117%	107%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 地域のために活動している市民や団体を支援します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	市民協働センターへの年間相談件数	件	0	416	300	252	599	185	323.8%	S	S	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		市民協働センターを庁舎東館2階へ移設したこともあり、令和2年度は相談件数が599件となり、令和元年度の252件を大幅に上回る結果となった。今後も多目的エリアの利用促進と連動し、市民活動の新たな拠点としての市民協働センターPRや市民活動団体の担い手不足の解消に向けた取り組みを実施していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	地域企画推進事業	重	地域支援課					D				
	2	市民協働センター活動推進事業	重	地域支援課					A				
	3	地区センター総務事業		地域支援課					A				
	4	協働のまちづくり推進事業		地域支援課					A				
	5	庁舎東館管理事業		地域支援課					A				
	6	コミュニティ助成事業		地域支援課					C				
	7	西方地区センター管理事業		地域支援課					D				
	8	町部地区センター管理事業		地域支援課					D				
	9	加茂地区センター管理事業		地域支援課					D				
	10	内田地区センター管理事業		地域支援課					D				
	11	横地地区センター管理事業		地域支援課					D				
	12	六郷地区センター管理事業		地域支援課					D				
	13	牧之原地区センター管理事業		地域支援課					D				
	14	青葉台コミュニティセンター管理事業		地域支援課					D				
	15	河城地区センター管理事業		地域支援課					D				
	16	平川コミュニティセンター管理事業		地域支援課					D				
17	小笠南コミュニティセンター管理事業		地域支援課					D					
18	小笠東コミュニティセンター管理事業		地域支援課					D					
19	嶺田コミュニティセンター管理事業		地域支援課					D					
評価分析と課題		1%地域づくり活動交付金の交付、市民協働センターの運営、地区センターの管理運営、庁舎東館の管理、コミュニティ協議会の運営支援は、本市が進める協働のまちづくりに必要な事業である。今後も市民・行政・市民活動団体等が協働を進めていく上で、様々な運営や支援を継続するとともに、担い手の育成も推進していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	1%地域づくり活動交付金制度の見直し、市民協働センターによる新たな講座の企画、コミュニティ協議会の役員のスキルアップや情報交換・課題共有等を目的とした懇話会の開催など、協働を進めていく上での必要な運営・支援を実施していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	秘書広報課		
R2	政策	1 市民と行政との協働によるまちづくり								担当課	秘書広報課、地域支援課、企画政策課		
	施策	2 まちづくりを進めるために市政情報を共有します											
		SDGsゴール	5	10	11	17							
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)								
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	73,166	84,929	66,549	施策費増減額	0	73,166	11,763	△ 18,380			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	116%	78%			
	施策事業費(決算)	0	0	84,039		一般財源増減額	0	65,434	△ 216	△ 1,833			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	97%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	2 まちづくりを進めるために市政情報を共有します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	市ホームページの更新回数(年間)	件	5,071	5,500	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	S	A	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		令和2年度は新型コロナウイルス感染症関連の情報発信を随時行ったため、市ホームページ更新回数の増加に繋がった。今後もコロナの状況に応じて支援制度等の内容の追加・変更が予想されるため、担当課と情報共有しながら速やかに対応していく必要がある。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
	1	2	1	人件費	コスト	成果	改善						
	1	自治活動推進事業	地域支援課					A					
	2	統計総務事業	企画政策課					A					
	3	統計調査の実施	企画政策課					A					
	4	広報広聴事業	重 秘書広報課					A					
	評価分析と課題		広報紙、ホームページ、SNSを活用して市政情報の共有に努めており、令和2年度においては市公式ライン、ツイッターを新たに開設したことで、市民生活の利便性向上に繋がったと考える。今後もこれらのツールの適切な運用が求められる。										
	総合評価	総合判定評価		A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方	
改善・加える変化		令和3年度もコロナ関連の情報を多く取り扱うことになると思われる。情報伝達の即時性を考えるとホームページ、SNSが有効であるが、全ての年代に情報を行き渡らせるためには広報紙など紙媒体の活用も不可欠である。扱う情報によってどの手段が最適なのかを判断し、市民が求める情報を適切に発信していく。											
担当課別評価		地域支援課	まちづくり出前行政講座は、庁内各部門により91講座を用意し、延べ年間303回実施するなど、多くの団体に利用され、広く市民の皆さんに市政への理解を深めていただいた。今後も開催実績を踏まえ、開催講座の見直し・PRを実施し、一層多くの団体に市政情報を伝えられるように推進していく。										
	企画政策課	令和2年度は国勢調査が実施されたが、コロナ禍のなかで調査員の協力をいただきながら大きな問題なく実施することができた。国の統計調査では、調査員の確保などが課題となってくるが、今後も県等と連携しながら各統計調査を適正に実施していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										主管所属	地域支援課	
R2	政策	1 市民と行政との協働によるまちづくり										担当課	地域支援課	
	施策	3 地域文化の交流を通して人のつながりを地域の活性化に活かします												
	SDGsゴール	16	17											
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)	0	10,470	8,592	6,449	施策費増減額	0	10,470	△ 1,878	△ 2,143				
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	82%	75%				
	施策事業費(決算)	0	0	8,552		一般財源増減額	0	5,752	△ 1,431	△ 1,052				
施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	75%	76%					
コスト分析と課題														
指標評価	総合計画											行政評価		
	3	地域文化の交流を通して人のつながりを地域の活性化に活かします	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	交流ツアーに対する参加者の満足度	%	35	70	93.6	71.4	0	50.6	0.0%	現未	E		
	成果2	効率												
指標分析と課題		例年実施している小谷村交流体験ツアーは、小谷村との盟約締結20周年事業の実施等により、令和2年度は当初より計画していなかったが、記念事業の一つである友好都市提携の締結式も新型コロナウイルス感染症対策としてリモート方式による開催となった。令和3年度もコロナ対策として交流ツアーの計画はないが、その分、新たな交流方法を検討する必要がある。												
評価分析	関連事業													
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△	
					成果	効率	1	人件費		判定評価	R4の方向性			
					1	2	1			コスト	成果	改善		
	1	地域間交流事業	地域支援課						A					
	2	市民協働型庁舎東館周辺賑わい創出事業	地域支援課						B					
評価分析と課題		庁舎東館を核とした賑わいづくり創出事業は、多様な立場の方が集い、行政だけでは考えつかない視点やアイデアを得るとともに、つながりを持つことにより、新たな取り組みが生まれる効果が得られている。令和3年度が事業の最終年度となるため、地域で継続的に賑わいづくりを進めていくための体制づくりが必要である。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性	コスト	成果	改善							
	改善・加える変化				維持→	維持→	①施策の進め方							
改善・加える変化		庁舎東館を核とした賑わいづくり創出事業は、新型コロナウイルス感染症対策を配慮し、かつ令和2年度の実績を基に、庁舎東館や隣接するきくろ広場を活用した小規模イベントを開催し、市内を中心とした来場者増加に向けた取り組みや実施支援を行っていき、継続的に事業を担う人材を育成するため、高校生を対象としたセミナー等を開催する。												

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										主管所属	秘書広報課
R2	政策	2 まちの元気・魅力が発信されるまちづくり										担当課	秘書広報課
	施策	1 知名度向上に向けて情報を発信します											
		SDGsゴール	5	10	11	17							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	82	123	1,838	施策費増減額	0	82	41	1,715			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	150%	1494%			
	施策事業費(決算)	0	0	123		一般財源増減額	0	82	1	5			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	101%	106%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	1 知名度向上に向けて情報を発信します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	報道機関への情報発信件数	回	694	800	968	938	715	741	96.5%	B	C	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		平成30年度、令和元年度と情報発信件数は900件を超えていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の中止が相次ぎ、発信件数が伸び悩む結果となった。更なる情報の掘り起こしが必要と考える。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費			コスト	成果	改善
	1	菊川市魅力発信事業	重	秘書広報課						A			
評価分析と課題		報道機関への情報発信件数は減ったものの、テレビ及び新聞(静岡・中日)で菊川市の情報が放映・掲載された回数は昨年を上回る結果となり、各種メディアを通じて「活力ある菊川市」を市内外に印象付けることができたと思う。今後も報道機関が求める情報を数多く発信していく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	令和3年度は移住定住促進のための小冊子及びホームページのリニューアルを行う予定であり、市の魅力、生活や子育てのし易さを十分にアピールできるものにするため、シティプロモーションの視点を持って関係部署と連携しながら事業を進めていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	企画政策課	
R2	政策	2 まちの元気・魅力が発信されるまちづくり								担当課	企画政策課	
	施策	2 移住・定住に関する情報を積極的に発信します										
	SDGsゴール	11	17									
コスト評価	事業費と割合(千円)				予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	施策事業費(予算)	0	3,422	70	1,235	施策費増減額	0	3,422	△ 3,352	1,165		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	2%	1764%		
	施策事業費(決算)	0	0	70		一般財源増減額	0	772	△ 1,652	1,165		
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	-114%	-32%		
コスト分析と課題												
指標評価	総合計画											行政評価
	2 移住・定住に関する情報を積極的に発信します	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	菊川市への移住について相談を受けた件数(累計)	件	1	63	73	96	102	29	351.7%	S	S
	成果2											
効率												
指標分析と課題 新型コロナウイルス感染症により首都圏等での移住相談会がオンライン開催となったことや移動そのものが抑制されたことから年間相談件数は6件と少なかったが、累計は102件で目標を大幅に超えている。オンラインでの移住相談会におけるアピールの仕方や菊川市を知っていただくための情報発信が必要となる。												
評価分析	関連事業											
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率		事業内容評価	判定評価	R4の方向性	
					1	2	1	人件費			コスト	成果
	1	移住・定住・交流推進事業	重	企画政策課					A			
評価分析と課題 オンラインでの移住相談会に参加したが、相談は事前予約となるなど対面に比べ相談を受けることが難しい。また、国の交付金を活用する移住就業支援事業費補助金については、対象となる事業所の登録が少ないなど支給の実績がなかった。												
総合評価	総合判定評価	B	施策の進め方の改善検討		R4年度の方向性			コスト 維持→	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
	改善・加える変化	市公式HP・SNSによる魅力の発信やオンラインでの移住相談会における市紹介ページの更新を行い、移住相談件数の増加に努める。また、移住就業支援事業費補助金は対象となる事業者の登録の増加のため、企業への制度周知を商工観光課と連携して行うほか、支援対象者が令和3年度から拡充されたことから広く周知を図っていく。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										主管所属	地域支援課
R2	政策	3 性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり										担当課	地域支援課
	施策	1 男女が平等な立場で参画できる社会づくりに取り組みます											
		SDGsゴール	5	10	16	17							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	606	326	778	施策費増減額	0	606	△ 280	452			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	54%	239%			
	施策事業費(決算)	0	0	279		一般財源増減額	0	284	△ 133	469			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	53%	411%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	1 男女が平等な立場で参画できる社会づくりに取り組みます	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価		
			H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度				
	成果1	男女共同参画宣言事業所・団体数(累計)	—	15	35	25	26	26	24	108.3%	B	D	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		男女共同参画宣言事業所について、令和2年度は新たな事業所・団体数が増加することはなかった。今後も、引き続き、男女共同参画宣言事業所の登録促進に向けた啓発活動を実施していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	男女共同参画推進事業	地域支援課						A				
	2	男女共同参画啓発事業	地域支援課						B				
評価分析と課題		男女共同参画社会の実現に向け、懇話会の開催、「第3次菊川市男女共同参画プラン」の推進及び進捗管理、市民アンケート実施による「第4次菊川市男女共同参画プラン」の策定準備等に取り組んだ。今後も各種啓発事業により意識の改革を推進していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト	成果	改善			
	改善・加える変化							維持→	維持→	①施策の進め方			
改善・加える変化		「第4次菊川市男女共同参画プラン」の策定に向け、策定委員会や庁内推進委員会を組織し、協議・検討を進めていく。また、引き続き、幼少期における意識啓発事業としての絵本の読み聞かせ・職業講話を実施し、市民向けの意識啓発事業としての講演会を開催する。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	地域支援課		
R2	政策	3 性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり								担当課	地域支援課		
	施策	2 外国人が暮らしやすい環境を整備します											
	SDGsゴール	5	10	16	17								
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	3,983	9,056	8,437	施策費増減額	0	3,983	5,073	△ 619			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	227%	93%			
	施策事業費(決算)	0	0	8,846		一般財源増減額	0	3,825	2,067	71			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	154%	101%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2 外国人が暮らしやすい環境を整備します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	ポルトガル・スペイン語以外の言語による情報発信件数(翻訳業務件数)(累計)	件	10	90	42	59	101	46	219.6%	S	A	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		ポルトガル・スペイン語以外の言語での情報発信件数(翻訳業務件数)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年から42件増加した。近年、外国人住民の多国籍化が進んでいるため、新たに開設した外国人相談窓口フェイスブックページ等を活用し、さらなる多言語による情報発信を強化する必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
						成果	効率	判定評価		R4の方向性			
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	多文化共生推進事業			地域支援課					B			
	2	多文化共生地域づくり推進事業			地域支援課					B			
評価分析と課題		多文化共生社会の実現に向け、外国人相談窓口の設置、「第3次菊川市多文化共生推進行動指針」の推進及び進捗管理、市民アンケート実施による「第4次菊川市多文化共生推進行動指針」の策定準備等に取り組んだ。今後もコミュニケーション支援や多文化共生の地域づくり等の取り組みを推進していく必要がある。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	「第4次菊川市多文化共生社会推進行動指針」の策定に向け、外国人等からの聞き取りや庁内推進委員会を組織し、協議・検討を進めていく。また、引き続き、ポケットクや多言語映像通訳等の翻訳機器を活用したコミュニケーション支援や日本語ボランティア養成講座等の開催により、多文化共生の地域づくりを推進していく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										主管所属	市民課			
R2	政策	3 性別、国籍を超えた共生社会を推進するまちづくり										担当課	市民課			
	施策	3 人権擁護活動を推進します														
		SDGsゴール	5	10	16	17										
コスト評価	事業費と割合(千円)										予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	施策事業費(予算)		0	599	940	750	施策費増減額		0	599	341	△ 190				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	157%	80%				
	施策事業費(決算)		0	0	934		一般財源増減額		0	599	△ 487	638				
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	19%	670%				
コスト分析と課題																
指標評価	総合計画										行政評価					
	3 人権擁護活動を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価				
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度						
	成果1	幼保園・小学校での人権教室開催数(令和7年度までに各所1回は開催)	箇所	6	24	14	19	20	14	142.9%	A	C				
	成果2															
効率																
指標分析と課題		これまで、人権教室ができていなかった幼保・こども園、小学校においても実施された。未実施は、1園、1校となった。新型コロナウイルス感染症がある状況下では、園・学校への人権教室実施の依頼が難しい状況である。														
評価分析	関連事業															
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価		総合判定評価		R4年度 拡充化○ 縮減化△			
			成果	効率			判定評価	R4の方向性								
			1	2	1	人件費		コスト	成果	改善						
	1	人権擁護活動事業	市民課				A									
評価分析と課題		新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、事業が実施できた。今後も人権擁護委員と連携し、人権擁護の活動を続けていく。人権擁護委員や行政では、多様な人権の課題に対し、十分な知識や情報が備わっていないため、研修への参加等により、情報と知識の蓄積を図っていく必要がある。														
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方						
	改善・加える変化	これまでのような人権教室の実施の依頼は難しいかもしれないが、地道に協力依頼を続けていく。その他人権啓発事業の実施方法について、社会情勢を考慮し、手法を変える検討を行う。														

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	総務課		
R2	政策	4 未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり								担当課	総務課		
	施策	1 市役所の組織力を高めます											
	SDGsゴール	8	11										
コスト評価	事業費と割合(千円)								予算額比較(千円)				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	135,044	143,927	151,063	施策費増減額	0	135,044	8,883	7,136			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	107%	105%			
	施策事業費(決算)	0	0	142,364		一般財源増減額	0	126,584	8,850	6,974			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	107%	105%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画											行政評価	
	1 市役所の組織力を高めます		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
	成果1	研修計画に基づく研修受講者数(延べ数)	人	476	500	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度	現未	E	
	成果2												
	効率												
	指標分析と課題		令和2年度の職員研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特に年度前半は中止または延期とし、県外の研修はすべて参加を見送ったため目標を達成できなかった。研修は研修生が集まり対面式で受講する方が効果が高いと考えるが、今後はオンライン研修等、非対面で参加できる研修の活用の拡大を視野に入れていく必要がある。										
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	人事管理事業	総務課						C				
	2	諸費	総務課						A				
	3	文書管理事業	総務課						A				
	4	職員研修事業	総務課						C				
	5	行政法務事業	総務課						A				
	6	一般管理総務費(総務課)	総務課						C				
評価分析と課題		市役所の組織力を高める取り組みとして、職務遂行に必要な知識・技術等を習得するための職員研修、適正な人事制度の確立や活力ある職場づくりのための人事管理、適正な行政事務を執行するための例規審査などの各事業を実施し、組織力の向上が図られた。引き続き有効な人材育成方法や機能的な組織機構となるよう研究していく。											
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当		R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	市実施研修について、本人の希望だけでなく人事担当課として職員個々に必要な知識を習得させるための研修参加を促す。また、オンライン研修の活用により研修受講者数の増加を目指す。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち								主管所属	企画政策課		
R2	政策	4 未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり								担当課	企画政策課、市民課		
	施策	2 ICT(情報通信技術)を活用し効率的な行政運営をします											
	SDGsゴール	8	10										
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	231,776	275,987	266,566	施策費増減額	0	231,776	44,211	△ 9,421			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	119%	97%			
	施策事業費(決算)	0	0	264,442		一般財源増減額	0	195,754	21,814	△ 16,041			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	111%	93%			
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	2	ICT(情報通信技術)を活用し効率的な行政運営をします	単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	電子申請項目数(累計)	項目	12	22	12	23	17	16	106.3%	B	D	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		電子申請の項目数は令和元年度に比べ行事が少なかったため減少した。コロナ禍において自治体の電子申請等の脆弱さが明るみになり、国としてもデジタル化、DX(デジタルトランスフォーメーション)を進めることとなった。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費		コスト	成果	改善	
	1	マイナンバー制度への適切な対応	企画政策課						A				
	2	庁内情報システム運用事業	企画政策課						A				
	3	ICT施策推進事業	企画政策課						A				
	4	戸籍住民基本台帳総務事業	市民課						A				
	5	社会保障・税番号制度事業	市民課						A				
	評価分析と課題		マイナポイント事業や市民課窓口の水曜開庁時間延長、休日対応によって、マイナンバーカードの交付数が増加した。効率的な行政運営を目指すためにRPA、議事録システム、地図情報システムなどの活用を進めている。今後、デジタル化、DXの方向性を定めていく必要がある。										
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当	R4年度の方向性				コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	RPAや議事録システムなど効率化のために導入したシステムを有効活用していく。電子申請では使い勝手がよいシステムを導入し、庁内理解を促進し申請可能項目を増やしていく。また、法令等に伴うシステム改修の実施や今後のサーバ等更新を迎えることも踏まえ、国等の動向を見ながらデジタル化、DXの方向性を定め対応していく。											
	担当課別評価	市民課	令和2年度、市民課窓口においてマイナンバーカードを利用して、住民票・印鑑証明書・所得課税証明の交付が受けられるシステムを導入した。今後、コンビニ交付が増えていくことを期待している。 令和3年3月末現在のマイナンバーカードの交付率は、マイナポイント制度が行われたこともあり、対前年同月末から14.3ポイント上昇し、28.5%となった。										

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										主管所属	財政課
R2	政策	4 未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり										担当課	財政課、企画政策課、税務課、小笠市民課
	施策	3 健全で安定した行財政運営を構築します											
SDGsゴール		8	10	11	16	17							
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	140,012	151,545	136,351	施策費増減額	0	140,012	11,533	△ 15,194			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	108%	90%			
	施策事業費(決算)	0	0	142,201		一般財源増減額	0	139,755	11,421	△ 15,201			
施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	108%	90%				
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	3 健全で安定した行財政運営を構築します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 D/C	評価	指標評価	
	成果1	住民一人当たり行政コスト	千円	285	270	H30年度 306	R1年度 297	R2年度 315	R2年度 278	R2年度 88.3%	現未	E	
	成果2												
	効率												
指標分析と課題		少子高齢化の進展に対応していくための社会保障関係経費や病院事業会計への繰出金の増加などにより、前年度に比べ13.3%の増加となった。社会保障関係経費は、今後も増加傾向が続いていくことが見込まれるところであり、人件費、物件費等の費用や企業会計への繰出金などを抑制していく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業	担当課	事業コスト評価	指標評価				事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
					成果		効率			判定評価	R4の方向性		
					1	2	1	人件費	コスト	成果	改善		
	1	行政評価推進事業	企画政策課						A				
	2	政策推進事業	企画政策課						A				
	3	公共施設マネジメント推進事業	財政課						A				
	4	決算分析事業	財政課						A				
	5	行財政改革の推進事業	重 財政課						A				
	6	収納管理業務	税務課						A				
	7	市民税業務	税務課						A				
	8	固定資産税業務	税務課						A				
	9	諸税業務	税務課						A				
10	徴収対策業務	税務課						A					
11	小笠支所庁舎管理事業	小笠市民課						A					
12	旧小笠支所管理事業	小笠市民課						A					
評価分析と課題		令和2年度から、行政評価の評価結果を次年度の予算編成等に反映していく行政経営システムの運用が始まった。持続可能な財政運営確保に活用していくため、同システムにおける評価の精度を高め、不断の行財政改革に取り組んでいく必要がある。また、市税の収納率向上や税外収入の確保などの財源確保にも着実に取り組んでいく必要がある。											
総合判定評価		A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性			コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方		
改善・加える変化		導入した行政経営システムを活用し、令和2年度分の行政評価を実施し、評価結果を活用して実行計画の策定、令和3年度予算編成を進めていく。											
総合評価	企画政策課	総合計画の進捗管理を含む行政評価、実行計画、予算・決算までを一つのサイクルとする行政経営システムを導入し、令和2年度分から行政評価の運用を開始した。今後も評価の精度を上げるなどし、効率的かつ効果的な行政運営に資するよう、活用を図っていく。またSDGs等、特に政策を推進する上で必要となる取り組みについて、職員が理解を深めるよう研修等を実施していく。											
	税務課	賦課において、市民税では未申告の法人・個人への申告書の送付や現地調査確認などを実施しR2賦課額を増とすることができた。固定資産税ではR3賦課額に向け評価替え作業を進め公平で適正な課税が行われた。軽自動車税では賦課額をR元より増とすることができたが、たばこ税では減となった。なお、軽自動車税においては、現地調査等により登録車両の整理を進めることができた。徴収事務では、滞納者に対し催告や財産調査を行い、滞納処分として差押230件、換価435件、執行停止365件を実施した。収納では、収入率は目標値を下回る結果となったが適正な事務を行うことができた。課税においても徴収及び収納管理においても適正に取り組むことができたが、事務の効率性の面では、改善の余地があり、今後、具体的な改善策を検討・実施していく必要があると考える。											
	小笠市民課	現小笠支所の庁舎管理については、適正な施設管理を行うとともに、施設の長寿命化のため計画的な維持修繕を行っていく。旧小笠支所については、西館の取壊しは決定しているが東館を今後どうしていくのか決まっていないため、まずは、方針を決めていく。なお、取壊しの時期についても方針の決定や財政状況を勘案しながら併せて決定する。今後の方針が決まるまでの間は、樹木管理など必要最低限の維持管理を行っていく。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち							主管所属	財政課			
R2	政策	4 未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり							担当課	財政課			
	施策	4 新公共経営と共創による行政運営を推進します											
		SDGsゴール											
コスト評価	事業費と割合(千円)							予算額比較(千円)					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	施策事業費(予算)		0	0	0	0	施策費増減額		0	0	0	0	
	施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	施策事業費(決算)		0	0	0		一般財源増減額		0	0	0	0	
施策費/政策費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
コスト分析と課題													
指標評価	総合計画										行政評価		
	4 新公共経営と共創による行政運営を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	業務改善・職員提案制度の一人当たり提出件数	件	0	2	1.2	1.5	1.5	2	75.0%	B	D	
	成果2												
効率													
指標分析と課題		業務改善は587件、職員提案は7件の提案があった。業務改善は、1人当たりの提出件数が平成30年度から増加の傾向にある。一方、他部署に対する業務改善提案と言える職員提案は、平成30年度に提案者自らが実現可能性を十分に検討した上で提案する方法に変更してから、提案件数が大きく減少している。職員提案には、当事者では気づかないことや提案しにくいことを改善させる機能があるため、提案が出やすい仕組みを考えていく必要がある。											
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
			成果	効率	判定評価		R4の方向性						
			1	2	1	人件費	コスト	成果	改善				
	1	民間との共創窓口設置・運営事業			財政課								
	評価分析と課題		令和2年度は、業務改善は積極的な展開がなされたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、菊川市CAPDo! や共創の取り組みは足踏みを余儀なくされた部分があった。行財政改革推進の取り組みについては、現方針の「新行財政改革推進方針」及び実施計画の菊川市CAPDo! (後期計画)が令和3年度末で期間満了を迎えるため、新たな方針を策定する必要がある。										
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 拡充↑	成果 拡充↑	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	次期行財政改革推進の取り組みは、これまで実施メニューとして掲げてきた事業については、令和2年度から動き出した行政経営システムの活用により総合計画の進捗管理に合わせて管理していくこととし、新たに重要度が高い特定の課題にスピード感を持って集中的に取り組む、課題解決を図っていく方向で検討している。											

施策評価シート

対象年度	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち							主管所属	企画政策課			
R2	政策	4 未来に向かって行財政機能を高めるまちづくり							担当課	企画政策課			
	施策	5 他市町との広域連携を推進します											
	SDGsゴール	17											
コスト評価	事業費と割合(千円)					予算額比較(千円)							
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	施策事業費(予算)	0	0	773	797	施策費増減額	0	0	773	24			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	103%			
	施策事業費(決算)	0	0	771		一般財源増減額	0	0	773	24			
	施策費/政策費	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		比較	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	103%			
	コスト分析と課題												
指標評価	総合計画										行政評価		
	5 他市町との広域連携を推進します		単位	現状値 A	目標値 B	実績値 C			期待値 D	達成率 C/D	評価	指標評価	
				H27年度	R7年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	R2年度			
	成果1	広域協議会等への提案で実現した施策提案数(累計)	件	0	1	0	0	0	0	0.0%	C	D	
	成果2												
効率													
	指標分析と課題 首長が参加する県主催西部地域サミットや浜松市主催の遠州広域行政推進会議等で提案しているが、採択にはいたっていない。今後も様々な機会を通じて提案をしていく。												
評価分析	関連事業												
	事業番号	事業名・重点及び新規事業			担当課	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価	総合判定評価			R4年度 拡充化○ 縮減化△
							成果	効率		判定評価	R4の方向性		
							1	2	1	人件費	コスト	成果	改善
	1	各種広域協議会等での連携推進			企画政策課					A			
	評価分析と課題 県西部及び三河、南信州を含めた協議会や大井川に関連する協議会など広域的な課題対応の場として必要な事業である。将来の人口減少社会への対応や生活環境の維持のために関係自治体と連携しながら適切に対応していく。												
総合評価	総合判定評価	A	計画どおりに施策を進めることが適当			R4年度の方向性		コスト 維持→	成果 維持→	改善 ①施策の進め方			
	改善・加える変化	大井川の水資源確保など大きな課題に対して更に県、関係自治体と連携を図っていく。											